

農村學童ノ赤血球沈降速度ニ關スル知見補遺

筑 籠 サ ナ ト リ ヲ ム

ドクトル 延 島 市 郎

目 次

第 1 章 緒 論	關係(1 時間値)
第 2 章 赤血球沈降速度ニ就テノ實驗方法	第 2 節 赤血球沈降速度(S.M.R)ト「マントー」 反應トノ關係
第 3 章 學童赤血球沈降速度ノ検査成績	第 3 節 從來報告サレタル學童ノ「ツベルクリ ン」反應ト赤血球沈降速度トノ關係比較
第 4 章 小兒竝ニ成人赤血球沈降速度ノ正常値ニ 就テ	第 8 章 赤血球沈降速度ト體溫トノ關係(其ノ1, 2,3)
第 5 章 微熱ト赤血球沈降速度トノ關係竝ニ高熱 ト赤血球沈降速度トノ關係	第 9 章 赤血球沈降速度ト頸部淋巴腺腫脹トノ關 係
第 6 章 學童赤血球沈降速度反應ノ概要竝ニ男女 性別トノ關係	第 10 章 赤血球沈降速度ト扁桃腺肥大トノ關係
第 7 章 赤血球沈降速度ト「マントー」反應トノ關 係	第 11 章 赤血球沈降速度ト學業成績トノ關係
第 1 節 赤血球沈降速度ト「マントー」反應トノ	第 12 章 總括及ヒ結論

第 1 章 緒 論

赤血球沈降速度ハ結核ニ特異ノ反應ニハ非ザルモ其ノ成績ハ結核ノ臨牀經過ト良ク一致シ其ノ成績ヲ以テ逆ニ結核ノ經過、豫後又ハ病勢ノ状態ヲ判別シ得ルモノニシテ現今ニ於テハ結核ノ補助診斷法トシテ重要ナル地位ヲ占ムルモノナリ。

顧ルニ小兒潜伏性結核ノ診斷ハ極メテ六ヶ數ク之ガ判定上最モ重要ナルハ左ノ 4 項目ナリ。

(1)「ツベルクリン」反應。(2)體溫測定。(3)赤血球沈降速度。(4)「レントゲン」検査。

殊ニ赤血球沈降速度ハ微毒ニ對スルワッセルマン氏反應、或ハ他ノ疾患ニ對スル檢便檢尿ノ如ク結核臨牀上重大意義ヲ有シ有力ナル補助診斷法ナリ。而モ肺結核ノ活動停止性ヲ判定スル最モ價値アル診斷法ナリ。名大勝沼精藏教授竝ニ其ノ門下生ガ屢々報道セル如ク赤血球沈降速度ハ結核病變ノ活動性ト組織破壊ノ大サトニ平

行シテ促進スルモノニシテ從來肺結核治癒ノ標準トナルモノハ唯「熱ト體重」ナリシガ、今日ニ於テハ體溫ヨリモ肺結核治療ノ標準トナリ得ルモノナリ。

而シテ體溫ノ高低、結核菌ノ有無ト沈降速度ノ大ナルモノニ體溫高キモノ多ク、又結核菌ノ證明サル、モノ多シ。

又滲出型結核ノ場合ハ増殖型ノ場合ヨリ沈降速度著シク促進シ、肺結核ノ輕快セル時ハ沈降速度遲延シ増悪スル場合ハ促進スルガ故ニ此ノ反應ハ殊ニ結核ノ豫後判定上必要缺クベカラザルモノトナレリ。

併シ滲出型肺結核或ハ空洞性肺結核ノ場合ニテモ沈降速度正常ナル事アリ、沈降速度正常ナリトテ豫後絕對ニ佳良ナリト斷定スル事能ハザル場合アリ。矢張り「レントゲン」線竝ニ打聽診上ノ所見ト相俟チテ診斷的價値ヲ認メラル。

病竈ノ廣狹ニ就テハ同一程度ノ病變ナル場合廣汎ナル方ガ促進ス。縱令病竈廣クトモ纖維素型ニシテ榮養佳良、微熱ノ者ハ沈降速度遲延スルガ故ニ沈降速度ノ著シク促進セル場合ハ病竈ノ破壞機轉旺盛ニシテ活動性ナル事ヲ示シ速度ノ正常値ニ近キ時ハ病勢ハ停止性ニシテ治癒ニ向ヒツ、アルヲ物語ルモノニシテ肺結核ノ經過及治療方針ヲ斷定スル上ニ何人モ爲サザルベカラザル検査法ナリ。

今茲ニ肺結核患者ニ特種療法(例ヘバ人工氣胸療法、胸廓成形術ノ如キ)ヲ實施セントスルニ際シ之ヲ中止スベキカ、或ハ斷行スベキカ、又ハ繼續スベキカヲ斷定スルニモ亦有力ナル指針トナルモノナリ。

抑々赤血球沈降速度ニ關スル研究ハ既ニ古ク Hews u (1791), Hunter (1794) 等ガ初メテ檢索シ其ノ後 2, 3 ノ學者ニ依リテ研究セラレシモ一時忘却セラレ顧ミラレザリキ。

然ルニ 1916 年 Fahraeus ガ妊婦ノ赤血球沈降速度ハ健康婦人ノソレニ比較シテ著シク速度大ナル事ヲ發見シ之ヲ早期妊娠診斷ノ一補助法トシテ採用スルノ價値アル事ヲ高唱セシガ其ノ後幾多ノ研究報告簇出シ妊娠診斷法トシテノ價値ヨリモ更ニ肺結核ノ診斷竝ニ豫後判定上ノ價値ノヨリ大ナルヲ認メラレ今日ニ於テハ一般ニ後者ノ目的ニ賞用セラル、ニ至レリ。

其ノ本態ニ關スル原因ニ就テハ赤血球自身ニ原因ヲ求ムルモノト血漿ニ其ノ起因ヲ歸セントスルモノトノ2種ニ大別セラル。

赤血球ニ原因ヲ求ムル研究ニ於テハ同一血漿中ニテハ血球少キ程沈降速度ハ大ナリ。女子ニ比シテ沈降速度大ナルハ女子赤血球數ハ男子ノソレニ比シ少キ爲メト解釋セラル。又 Abderhalden 氏ハ赤血球自身ガ關係アルト云ヒ Bürker 氏ハ赤血球數ガ寧ろ關係アリト稱シ或ル者ハ「ヘモグロビン」含有量ニ關係アリト述べ M. Bardoeh 氏ハ血色素量及ヒ血液組織ニハ無關係ナリト述べタリ。

Sachs u. Oettingen 竝ニ Linzenmeier 氏等

ハ赤血球沈降速度ニ影響ヲ及ボス原因ハ血漿中ノ「グロブリン」及ビ「フィブリノーゲン」ニ密接ナル關係ヲ有スルモノナリト述べタリ。

更ニ又血漿ノ粘稠度ニ重大ナル關係アリト云ハル。醫學常識上粘稠度ガ増加スレバ赤沈反應ハ遲延スルガ如ク考ヘラルルモ事實ハ正反對ヲ示シ血漿粘稠度ノ増加ハ赤沈反應ノ促進ヲ來スモノナリト。

要之赤沈反應ノ促進的因子トシテハ血漿「フィブリノーゲン」竝ニ「グロブリン」ノ増加、ベニム・ジونس氏蛋白體ノ發生、血漿中殘餘窒素ノ増加、血漿粘稠度ノ上昇、赤血球數ノ減少、血色素指數ノ増加等ガ舉ゲラレ、抑制的因子トシテハ血漿「アルブミン」量ノ増加、血色素指數ノ減少等ガ數ヘラレ「リポイド」膽色素、諸種鹽類液、血液 pH 等ハ一定ノ影響ナキモノノ如ク其ノ原因ニ就テハ諸説紛々トシテ今尙一致ノ學說ヲ求メ得ズ、沈降速度ハ夫レガ何ニ起因スルヤ明確ナラズト雖モ男女ニ依リ或ハ疾患ニ依リ其他測定上ノ種々ナル條件ニ依リテ其ノ結果ヲ異ニスルモノナリ。

健康體ニ於テモ Westergren 氏ハ1時間値男1—3耗ニ對シ女4—7耗ヲ正常ナリトシ Fahraeus ハ男4、女8、大谷氏ハ男2、女9ト稱ス。是等ノ數ノ1日中ニ於ケル動搖ニ就テハ Löhr 氏ニ依レバ不明瞭ナリ。普通食事及ビ飲料水ノ攝取ニモ關係セザルモノ、如シト云フ。

余ハ農村學童ニ就テ赤血球沈降速度ノ研究ヲ企テタルモ其ノ本態ニ就テノ研究ハ暫ク措キ先づ成人結核患者ニ就テ微熱ト沈降速度トノ關係ヲ調査シ次デ健康兒童ニ於ケル速度ヲ測定シ更ニ沈降速度ハ肺結核ノ診斷竝ニ豫後判定上ニハ密接ナル關係アルモ「ツベルクリン」皮内反應陽性兒ト赤血球沈降速度トノ間ニモ同様ノ關係アリヤ否ヤヲ調査シタルヲ以テ其ノ檢索ノ結果ヲ報告セントス。更ニ結核性疾患ニ於ケル赤沈反應ニ就テハ既ニ種々ナル報告アルモ小兒ニ多キ頸部淋巴腺腫脹、扁桃腺肥大竝ニ體温トノ關係等ニ就テハ其ノ記載甚ダ少シ。依ツテ余ガ

檢索ヲ企テ些カ知見ヲ補遺スル事ヲ得タルヲ以テ其ノ成績ヲ合併セ報告セントス。

第 2 章 赤血球沈降速度ニ就テノ實驗方法

茨城縣農村ノ學童 11 歳ヨリ 14 歳迄ノ者 286 名ニ就テ Westergren 氏法ニ依リ赤血球沈降速度ヲ測定セリ。

該兒童ハ總テ健康ニシテ臨牀上「アンギーナ」、腎臟炎、中耳炎、下痢其他ノ疾病ナク女子ハ月經中ニ非ザルモノノミヲ檢査セリ。

實驗方法

像メウエスターグレン氏赤血球沈降速度測定器(10 本立ノモノ)4 組ヲ用意シ良ク乾燥シ置キタリ。

先ヅ滅菌注射器 2 兎ノモノ及ビ 3 分ノ 1 注射針ヲ十數本用意シ像メ滅菌セル 3.8%ノ枸櫞酸曹達液ヲ 0.4 兎宛吸引シ兒童ノ正中靜脈ヨリ血液 1.6 兎宛ヲ取り總量 2 兎トナシヨク振盪シ各内容 3.0 兎ヲ容ル、硝子圓筒形ノ試験管ニ移シ直ニウエスターグレン氏試験管ニ吸引シ所定ノ

試験管臺上ニ靜置シ漸次發生スル血漿柱ノ高サヲ度盛リニ就キ 1 時間目、2 時間目、24 時間目ニ記載セリ。

枸櫞酸曹達液ト血液トノ比ハ 1:4 トシ此ノ比率ヲ一定ニシ置キ沈降速度ニ遲速ノ誤差ヲ生ゼザラシムルニ努メタリ。

枸櫞酸曹達液ハ 200 兎調製シ總テ 2 週間以内ニ使用セリ。之ニヨリ Dehoff 氏ノ述ブルガ如ク該液調製後 4 週間ヲ過ギテ使用スル際ハ誤差ヲ生ズト云フ非難ナキヲ期セリ。

實驗ハ 9 月下旬ヨリ 10 月初旬ニ亙リ行ハリ。室温ハ 20 度—24 度(平均室温 22.7 度)湿度ハ 74 度—78 度(平均湿度 76 度)ナリ。

採血時間ハ午前 11 時ヨリ正午迄ヲ選ビ採血時正中靜脈ヲ怒張セシムル爲メ上膊ヲ壓迫スルモ鬱血時間ハ 1 分間以内トシ採血セリ。

第 3 章 學童赤血球沈降速度ノ檢査成績

11 歳ヨリ 14 歳迄ノ兒童(男女) 286 名ニ就キ赤血球沈降速度ヲ檢シ其ノ速度ニ依リテ人員ヲ區

別スレハ第 1, 第 2, 第 3 表ノ如シ。此ノ表ニ於テ見ルニ第 1 時間ノ成績第 1 表ニ於

第 1 表 第 1 時間ノ赤沈成績

赤沈速度	1	6	11	16	21	26	31	36	41	46	50	計
人員	53	111	60	29	22	4	2	3	0	1	1	286

第 2 表 第 2 時間ノ赤沈成績

赤沈速度	1	6	11	16	21	26	31	36	41	46	51	56	61	71	81	90	100	計
人員	3	34	42	58	43	48	13	16	7	6	4	4	3	2	2	1	0	286

第 3 表 第 24 時間ノ赤沈成績

赤沈速度	50 以下	51	61	71	81	91	101	111	120 以上	計
人員	3	5	13	50	63	60	34	9	8	245

テ全員ノ50%以上ハ1—10耗ノ間ニアリ78.3%ハ1—20耗ノ間ニアリ依ツテ此ノ中ノ各數ニ

就テ人員ヲ表示スレバ第4表ノ如シ。即チ

第4表 第1時間値1—20耗ノ赤沈速度ニ相當スル度數分布

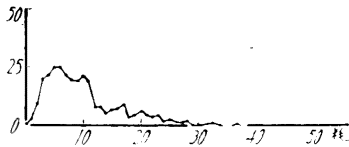
赤沈速度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計
人員	3	9	20	21	25	25	22	19	18	21	19	7	7	5	6	7	9	3	4	6	256

$M=8.5 \pm 0.1939$
 $\sigma=4.6 \pm 0.1371$
 $n=256$

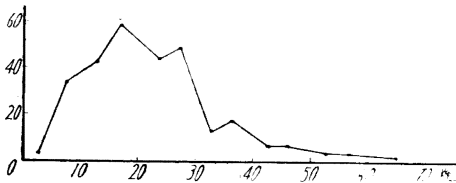
尚之ニ從ヒ2時間値ハ19—22耗、24時間値ハ86—88耗トナル。以上ノ第1, 2, 3表ヲ曲線ニテ表ハセバ第1, 2, 3圖ノ如シ。

農村學童ノ正常ノ平均沈降速度1時間値ハ4—13耗ナリト見ルテ可トス。

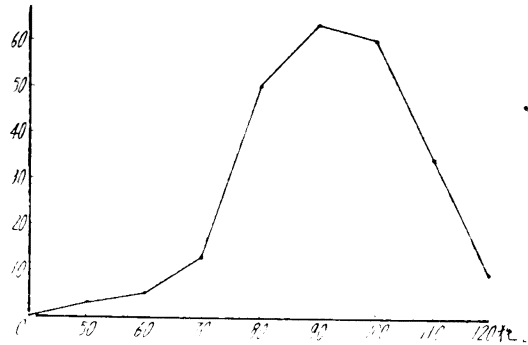
第1圖 第1時間目赤血球沈降速度



第2圖 第2時間目沈降速度



第3圖 24時間目沈降速度



第4章 小兒竝ニ成人赤血球沈降速度正常値ニ就テ

健康小兒ニ於ケル赤血球沈降速度ノ正常値ハ年齡ニ依リ又氣溫其他ノ條件ニ依リ其ノ値モ異ルヲ見ル。本邦ニ於ケル報告ヲ見ルニ第5表ノ如シ。

土橋教授ニ依レバ健康兒145例ノ検査ニ於テ1時間値19耗以下ノモノ82.7%アリ19耗以下ヲ正常、20耗以上ヲ病的ト定メラレタリ。前田正文氏ハ健康兒1006名中20耗以下ノモノ92%アリ且全體ノ70%ハ4—10耗ナリト述ベタリ。余ノ農村學童287名ニ就テ検査セル所ニ依レバ1時間値12耗以下ノモノハ85%アリ當村學童ノ赤沈正常1時間値ハ4—13耗ナリ。2時間値19—22耗。

第5表 健康小兒赤血球沈降速度正常値(1時間値)比較

報告者	測定法	検査人員	年齢(歳)	値(耗)
土橋	ウェスター グレン氏法	145	1—14	19以下
高石	同上	31		2—10 (平均6)
相澤	同上	400	11—15	男 5—10 女 5—15
高橋	同上	260		男 1—11 女 2—13
吉田	吉田氏法	261		3—7
清野	ランゲルシュ ミット氏法	361	1—7	4.5—5.7
延島	ウェスター グレン氏法	286	7—14 (男女)	4—13

24 時間値 86—88 耗トナル。

次デ余ハ「ツベルクリン」反應トシテ「マンツ」反應ヲ用ヒ之ト赤血球沈降速度トノ關係ヲ觀察セリ。

而シテ赤沈値ハウェスターグレン氏法ニ從ヒ

小兒 1 時間値	0—11 耗	正常値
	12—19 耗	限界値
	20—49 耗	弱反應
	50 耗以上	強反應

ヲ以テ表ハセリ。

健康成人ノ赤血球沈降速度ノ正常値ニ關シテハ區々ニシテ各研究者ニ依リテ相違スルコト第 6 表ノ如シ。

健康成人ノ正常値ニ關シテ各學者間ニ相違ヲ認メラルル所斯克ノ如シ。況ンヤ病症程度ノ判定標準數値ニ至リテハ更ニ區々タルモノアリ、何レヲ採用スベキヤニ迷ハザルヲ得ズ今諸家ノ說ヲ引用スルニ第 7 表ノ如シ。

第 6 表 健康成人赤血球沈降速度正常値(1 時間値)

報告者	正常値 (耗)		報告者	正常値 (耗)	
	男	女		男	女
Westergren	1—3	4—7	湧谷	1—5	2—15
Lintzenmeir	2—5	5—7	和田	1—3	3—7
Katz u. Leffkowitz	2—5	3—8	熊谷内科	3 (1—5.5)	6.5 (2.5—10.5)
Krimpoff	1—5	3—8	中務	1—5.9	5.5—11.7
鈴木、本多	3—4	3—10	加藤	4—6	8.5—11
大谷	1.3—2	4.5—13	村上	1—4	1—8
其他略ス					

第 7 表 從來報告サレタル諸家ノ赤沈反應判定標準値

報告者	赤沈反應促進程度別 (平均値、耗)		
	輕度促進	中等度促進	強度促進
Neumann	10—12	12—25	26 以上
Roche	4—15	15—30	30—50
K. Fischel	20	40	70
H. Frederick	10—20	21—54	55—110
鈴木、本多	10	40	80
湧谷	男 25 女	50 42	99 74
岡部、小川	9—23	24—55	56—155
渡部	10—20	20—50	50 以上

Katz 氏判定標準値(1 時間ト 2 時間トノ平均速度 S.M.R 耗)

弱反應	中等反應	強反應	最強反應
10—20	21—40	41—60	60 以上

$$S.M.R = \frac{1}{2}(A + \frac{B}{2})$$

但 S.M.R = Senkung
Smittelgrad Reaktion
(1 時間ト 2 時間トノ平均速度)
A → 1 時間値
B → 2 時間値

Westergren 氏判定標準値(1 時間値、耗)

正常値	限界値	弱反應	中等反應	強反應	最強反應
男 1—3	4—7	8—15	男 16—35	36—80	81—140
女 4—7	8—11	12—15			

以上多數ノ判定標準値中 Katz 及ビ Westergren 氏判定標準値ハ代表的ナルモノニシテ今

日一般ニ利用サレツ、アル所ナリ。

依ツテ著者ハ成人結核患者ニ就テ「微熱ト赤血

球沈降速度トノ關係」ヲ檢討スルニ當リ2時間
 値ハ參考ニ止メ Westergren 氏判定標準法(1
 時間値)ヲ採用セリ。
 尙熱型ニ就テハ左ノ如ク分類シ「微熱」以外ニ
 「高熱ト赤血球沈降速度トノ關係」ニ就テモ觀察

考究セリ。
 37 -37.5 → 微熱(但大人ノ場合)
 37.6 -37.9 → 輕熱
 38 以上 → 高熱

第 5 章 微熱ト赤血球沈降速度トノ關係竝ニ高熱ト

赤血球沈降速度トノ關係

從來微熱ハ結核ト即斷セラレ居リシモ之ハ大人
 ノ場合ニ限リ兒童ニ於テハ潛伏結核ナラザル場
 合非常ニ多ク、兒童ノ健否診斷上重要事項トナ
 レリ。
 然ラバ微熱ト赤血球沈降速度トハ如何ナル關係

アリヤヲ檢討セントシ過去5ケ年間ニ1800餘
 名ニ就テ検査セリ。今其ノ悉クヲ列舉スルハ徒
 ラニ煩雜ノ度ヲ加フルノミナルヲ以テ最近1ケ
 年間ニ於ケル微熱患者250名、高熱患者50名
 計300名ヲ列記表示セリ(第8表、第9表)。

第 8 表 微熱ト赤血球沈降速度トノ關係

No.	姓 名	年 齡	性	初診時赤沈反 應、ウェスター グレン値		初診 時體 溫	主 症 狀 及 ビ X 線 所 見	診 病 名	斷 病 型	備 考
				1時間	2時間					
1	██████	23 j	♂	2	4	37.3°	輕咳、痰僅少、 X線左肺浸潤著 明、陰影アリ	肺結核	恢復期	2年前人工氣胸、 執務中
2	██████	27 j	♀	7	25	36.0°	左右捻髮音、血 痰、輕咳	初期肺結核		6ヶ月前血痰
3	██████	17 j	♂	2.5	6.5	36.8°	胸 痛	健 康		健康診斷
4	██████	29 j	♂	3	11	36.5°	主訴(-)、左右 側胸囉音	肺結核恢復期		2年間靜養
5	██████	41 j	♀	4	10	37.0°	血痰、肺門部陰 影(+)	潛伏結核		最近長男19jニ テ結核死亡ス
6	██████	24 j	♀	2	8	37.1°	主訴(-)、右背 下葉ラッセル(+)	肺尖加答兒		2年前咯血靜養ス
7	██████	30 j	♂	2	5	平熱	輕 咳	咽頭加答兒		健康診斷
8	██████	35 j	♀	6	21	平熱	肺尖部僅少囉音	潛伏結核		10年前肺尖加答兒
9	██████	22 j	♀	2	4	36.6°		健 康		健康診斷
10	██████	26 j	♀	6	15	36.4°		健 康		1年前血痰、健 康診斷
11	██████	30 j	♂	3	9	37.5°	胸 痛	肋膜炎		7年前ヨリ肋膜 炎治療中
12	██████	30 j	♀	5	14	37.1°	全身倦怠、咯痰	肺尖加答兒、增 殖型		4ヶ月前肺尖加 答兒ト診定サル
13	██████	56 j	♀	6	14	平熱	マンロー反應(卅)	健 康		健康診斷(孫最 近結核死ス)
14	██████	23 j	♀	6	15	平熱	マンロー反應(+)	健 康		健康診斷(兄最 近肺結核死)
15	██████	13 j	♂	2	5	平熱	マンロー反應(+)	健 康		同 上
16	██████	18 j	♀	6	17	37.2°	微熱、胸痛	肋膜炎		
17	██████	22 j	♂	3	17	36.9°	5ヶ月前肋膜炎	健 康		健康診斷

正常者(1—48例)

18	██████	25 j	♂	1.5	2	平熱	時々微熱、血痰、菌(一)、X線著變ナシ	潜伏結核	昭和12年來靜養
19	██████	18 j	♂	3	6	37.3°	咳嗽、胸痛、菌(一)、X線肺門腺腫脹	肺門淋巴腺結核	初診、發病3ヶ月目
20	██████	24 j	♀	4	7	36.5°	主訴(一)	健康	健康診斷(弟肋膜炎)
21	██████	25 j	♀	3	7	37.2°	胸痛、咳嗽	肺門淋巴腺結核	發病6ヶ月目初診
22	██████	19 j	♂	3	10	平熱	微熱、食慾不振、菌(一)、X線肺門腺腫脹	肺門淋巴腺結核	發病3ヶ月目初診
23	██████	18 j	♂	3	8	37.2°	胸痛	肋膜炎	發病20日目初診
24	██████	24 j	♂	3	11	平熱	食慾減退、睡眠不良、血痰、貧血	初期肺結核、肋膜炎	發病6ヶ月目初診
25	██████	29 j	♀	5	15	36.8°	微熱、睡眠不良、左肺尖ラッセル	左肺尖加答兒	發病2ヶ月目初診
26	██████	20 j	♂	2	26	37.2°	微熱、菌(一)、X線、左肺浸潤陰影、肋膜癒着	肺結核、増殖型	入院治療、半年後全治、勞務ニ從事中
27	██████	27 j	♀	6	16	37.5°	微熱	肺門淋巴腺結核	
28	██████	17 j	♀	3	20	37.3°	食慾不振	潜伏結核	健康診斷(肺結核)
29	██████	26 j	♀	2	7	37.2°	經前微熱、喀痰少量、X線肺門部陰影、石灰化竈散在	肺門腺結核	4年前發病
30	██████	23 j	♀	3	20	37.2°	微熱、X線肺門腺腫脹	肺門腺結核	發病1ヶ月
31	██████	15 j	♀	2	5	37.1°	體重減少、X線肺門腺腫脹	肺門腺結核	發病1ヶ月半
32	██████	15 j	♂	3	4	36.7°	微熱、全身倦怠	潜伏結核	2年前カラ感冒ニ罹リヤスシ
33	██████	22 j	♂	2	8	36.8°	微熱、胸部壓迫感、X線著變ナシ	肋膜炎	發病3ヶ月
34	██████	32 j	♀	7	19	37.2°	微熱、盜汗、左背ラッセル、X線左肺野均等薄影、菌(一)	肺結核、増殖型	發病6ヶ月
35	██████	17 j	♂	2	4	36.8°	咳嗽	咽頭加答兒	1週間前發病、健康診斷
36	██████	17 j	♀	2	10	37.3°	咳嗽、マントー反應(卅)	潜伏結核	健康診斷(姉最近結核死)
37	██████	23 j	♀	6	13	36.9°	背胸痛、盜汗、X線肺門腺腫脹	肺門淋巴腺結核増殖型	發病2—3ヶ月
38	██████	30 j	♂	2	4	36.8°	全身倦怠、頭重、食慾不振、X線肺門部陰影	肺門腺結核	發病1ヶ月
39	██████	28 j	♂	2	5	37.2°	肩凝、微熱、盜汗	左肺尖加答兒、増殖型	發病2週間
40	██████	25 j	♀	3	7	37.3°	胸痛、左呼吸音微弱	肋膜炎	發病15日
41	██████	36 j	♂	2	4	37.3°	胸痛、全身倦怠、睡眠不良	肋膜炎(再發)	發病1週間、5年前肋膜炎ヲ病ム

	42	██████	28 j	♀	5	39	37.1°	微熱、菌(一)、胸部壓迫感、X線肺門部陰影、肋膜炎癒着	肺門腺結核、肋膜炎、増殖型	發病3ヶ月入院治療
	43	██████	41 j	♀	5	11	36.7°	睡眠不良、血痰、菌(一)、X線右肺門肺尖部軽度浸潤像	肺尖加答兒	發病1ヶ年
	44	██████	28 j	♂	3	6	37.1°	輕咳、微熱	肋膜炎	發病1ヶ月(母3年前結核死)
	45	██████	29 j	♀	4	9	37.5°	右胸痛、右下葉ラッセル	肺尖加答兒	健康診断
	46	██████	24 j	♂	2	4	36.4°		健康	健康診断(父母結核死)
	47	██████	34 j	♀	3	8	37.0°	盜汗、右側胸痛、鼻閉塞	感冒	健康診断、發病5日
	48	██████	36 j	♂	3	8	36.8°	3年前咯血、左肺尖ラッセル	左肺尖加答兒	健康診断
限界値(49—73例)	49	██████	26 j	♀	11	28	平熱	マンロー反應(++)	健康	健康診断(弟最近結核死)
	50	██████	30 j	♂	6	22	37.2°	微熱	潜伏結核	最近發病
	51	██████	31 j	♂	5	18	36.6°	マンロー反應(+)	健康	健康診断(前年弟結核死)
	52	██████	57 j	♂	5	14	37.1°	肩凝、右背下部摩擦音	肋膜炎	息5ヶ月前肺結核ニテ死亡ス
	53	██████	26 j	♀	11	27	平熱	頸腺腫脹		健康診断
	54	██████	33 j	♂	4	12	37.3°	微熱、咯痰、咳嗽	潜伏結核	發病1ヶ月
	55	██████	19 j	♂	5	13	36.6°	左胸痛	健康	健康診断、1ヶ月前濕性肋膜炎トナル
	56	██████	20 j	♂	5	12	37.5°		潜伏結核	8ヶ月前、左右濕性肋膜炎
	57	██████	20 j	♂	4	5	37.5°	食慾不振、全身倦怠、貧血	肋膜炎	發病1ヶ月
	58	██████	21 j	♂	4	8	37.3°	食慾不振、睡眠不良	肺門淋巴腺結核	
	59	██████	22 j	♀	11	31	37.3°	6ヶ月來微熱	肺門淋巴腺結核	妹結核死
	60	██████	20 j	♀	8	18	平熱	腹部膨滿緊張	結核性腹膜炎	數ヶ月後治療
	61	██████	23 j	♂	6	30	37.3°	咯血、微熱、菌(一)、X線左上葉圓形空洞形成初期ノ像アリ	肺尖加答兒、増殖型	發病1ヶ月
	62	██████	26 j	♂	8	22	36.8°	咳嗽、咯血、貧血、稍々羸瘦、X線左肺浸潤、空洞、肋膜肥厚	左肺結核、混合型	發病1ヶ月
	63	██████	21 j	♂	5	15	36.7°	微熱、菌(一)、X線肺門腺腫脹肺門部浸潤、肋膜肥厚	肺門浸潤	發病3ヶ月
	64	██████	32 j	♂	7	29	平熱	熱感	肋膜炎	妻肺尖加答兒
	65	██████	21 j	♂	5	15	36.6°	左胸痛	肋膜炎	勞務ニ従事
	66	██████	25 j	♂	4	8	36.5°	肩凝	健康	5ヶ月來肩凝
	67	██████	28 j	♂	4	10	37.1°	全身倦怠、背痛	肋膜炎	4ヶ月前發病

	68	██████	35 j	↑	4	15	37.0°	全身倦怠	健康	健康診断
	69	██████	24 j	♀	9	26	37.2°	食慾不振、微熱	肋膜炎	發病1ヶ月
	70	██████	37 j	♀	8	25	37.1°	血痰、右肺尖ラッセル	右肺尖加答兒	發病1週
	71	██████	39 j	↑	7	19	37.0°	盜汗、肩凝	潜伏結核	發病1ヶ月
	72	██████	20 j	♀	11	17	37.1°	肩凝、食慾不振、右呼吸微弱	右肺尖加答兒	軍醫學校診断
	73	██████	20 j	↑	4	12	37.2°	微熱、咯痰、血痰	初期肺結核	3年前、肋膜炎ヲ病ム
弱反應(74—90例)	74	██████	31 j	↑	13	28	37.2°	打、聽診上所見ナシ	潜伏結核	數年前肋膜炎
	75	██████	36 j	↑	15	28	37.2°	感冒ニ罹リ易シ	潜伏結核	健康診断
	76	██████	38 j	♀	15	33	37.0°	血痰、食慾不振、X線肺門淋巴腺腫脹、菌(一)、索狀陰影、肺尖薄影	肺門淋巴腺結核兼肺尖加答兒	發病3ヶ月
	77	██████	28 j	♀	14	37	37.1°	微熱、胸痛、X線右肺門腺腫脹、不整ノ索狀陰影	肺門淋巴腺結核兼肋膜炎	發病2ヶ月初診
	78	██████	23 j	♀	12	20	37.2°	全身倦怠、咳嗽、頭重、肩凝	潜伏結核、脚氣	發病3ヶ月
	79	██████	33 j	♀	13	34	37.4°	左胸痛、背痛	肋膜炎	發病40日、膀胱炎ニテ血尿アリタルコトアリ
	80	██████	31 j	♀	12	30	37.1°		肋膜炎	健康診断
	81	██████	28 j	↑	12	29	37.3°	胸痛、微熱	潜伏結核	母1年前結核死亡
	82	██████	31 j	↑	9	63	37.5°	咳嗽、咯痰	潜伏結核	健康診断
	83	██████	43 j	♀	12	17	37.3°	胸痛、腰痛、食慾不振、左足シビレ感、X線肺門部淋巴腺腫脹	肺門腺結核、腰椎カリエス	最近發病
	84	██████	26 j	♀	12	35	37.3°	微熱、肩凝、胸痛菌(一)、X線兩側肺門腺腫脹	肺門腺結核兼肋膜炎	發病1ヶ月
	85	██████	20 j	↑	15	50	36.8°	輕咳、貧血、羸瘦、左胸部下方濁音、右肺尖ラッセル、菌(一)	肋膜炎、肺尖加答兒、増殖型	發病2ヶ月
	86	██████	26 j	♀	12	25	37.4°	輕咳、微熱、胸痛、肩凝、菌(一)、X線左肺均等廣汎ナル陰影、散在性點狀石灰化竈	肋膜炎兼肺尖加答兒	發病4ヶ月
	87	██████	30 j	♀	15	37	36.8°	貧血、羸瘦、全身倦怠、X線著變ナシ	潜伏結核	發病6日
	88	██████	57 j	♀	12	27	36.4°	不眠、マントー反應(卅)	潜伏結核	健康診断(娘最近結核死)
	89	██████	32 j	↑	9	24	37.0°	咳嗽、咯痰	肋膜炎	發病1ヶ月
	90	██████	21 j	♀	13	23	36.8°	咳 嗽	左肺結核、右肋膜炎	1年半前右濕性肋膜炎、1年前左肋膜炎、健康診断

中等反應 (91—143例)	91	50 j	♂	27	62	37.0°		潜伏結核	健康診断(3ヶ月前娘結核死)
	92	20 j	♂	30	54	37.4°	胸痛、盗汗、右胸軽度濁音	肋膜炎	發病1ヶ月
	93	22 j	♂	35	70	36.6°	主訴(一)、X線肺門腺腫脹、肺門周圍炎性硬結像	潜伏結核	1年前肋膜炎、腹膜炎
	94	28 j	♀	32	67	36.5°	X線右肺完全氣胸、左上葉浸潤陰影	肺結核恢復期、増殖型	人工氣胸術1年間施行中
	95	73 j	♂	35	64	36.4°	胸痛、左右側胸部ニ摩擦音アリ	肋膜炎	發病1ヶ月
	96	34 j	♂	22	34	37.4°	咽頭痛	潜伏結核	10年前肋膜炎
	97	42 j	♂	20	48	37.2°	食慾不振、喀痰少量、右胸部壓迫感、X線散在性點状石灰化竈、不整ノ索状陰影	潜伏結核	10年前肋膜炎
	98	19 j	♀	33	55	37.4°	喀痰少量	潜伏結核	5年前肋膜炎
	99	42 j	♂	25	54	36.8°	輕咳、背胸痛	潜伏結核	發病2年、血痰アリタル事アリ
	100	23 j	♂	35	83	平熱	左胸部濁音、菌ガフキー1號	膿胸	8ヶ月肺尖加答兒
	101	27 j	♂	17	43	37.0°	肩凝、貧血、右肺全面ラッセル、X線右肺門部浸潤陰影、左全面薄イ陰影アリ、肋膜肥厚	肺結核、混合型	5年前肋膜炎
	102	25 j	♂	19	49	37.2°	咳嗽(++)、左胸側部ラッセル、X線左中葉浸潤陰影、菌G. III	肺結核	2ヶ年來靜養
	103	18 j	♀	23	55	平熱	頸部淋巴腺腫脹、マントー反應(+)	瘰癧	健康診断
104	38 j	♀	17	50	37.3°	左胸痛	肋膜炎	夫2ヶ月前肺結核死	
105	25 j	♀	35	62	37.1°	健康診断	陳舊性肋膜炎	2ヶ月前濕性肋膜炎	
106	20 j	♂	31	67	37.3°	微熱、咳嗽、體重減少、X線左上中葉、肺浸潤陰影、右僅少	初期肺結核、増殖型	發病2ヶ月	
107	37 j	♀	22	56	平熱	全身倦怠、胸痛、輕咳	肋膜炎	發病1ヶ年	
108	26 j	♂	30	50	36.9°	マントー反應(++)、胸痛	潜伏結核	健康診断(妻最近結核死)	
109	23 j	♂	28	63	37.1°	輕咳、左右ラッセル、X線左右肺浸潤、肋膜癒着	肺結核、混合型	痔瘻アリ	
110	48 j	♀	18	40	平熱	左頸部淋巴腺痛	健康	健康診断	
111	30 j	♀	20	33	平熱	喀血20瓦、X線病的著變ナシ	潜伏結核	發病1ヶ月	
112	35 j	♀	25	58	37.1°	微熱、菌(一)	肋膜炎	健康診断	
113	32 j	♂	22	59	37.3°	風邪氣味、血痰、喀血、X線左肺浸潤、空洞、菌G. III	肺結核、混合型	人工氣胸施行、發病2ヶ月	

114	██████	28 j	♂	35	72	37.1°	食慾不振、咳嗽、 咯痰、菌 G. III. 咯 血、X線右肺浸潤 陰影著明、左僅少、 肋膜癒着	肺結核、増殖型	發病 3 ヶ月
115	██████	31 j	♂	21	31	37.5°	肩凝、眩暈	潛伏結核	發病 10 日目
116	██████	19 j	♀	26	58	36.5°	咳嗽、咯痰、胸痛	潛伏結核	發病 5 日目
117	██████	21 j	♀	26	61	36.9°	咳嗽、食慾不振、 右胸ラッセル(++)、 菌 G. IV. X線右 中下葉浸潤著明、 左僅少	肺結核	發病 1 年 8 ヶ月 初診
118	██████	24 j	♂	17	33	36.8°	胸痛、咳嗽、咯痰	肋膜炎	發病 7 ヶ月
119	██████	32 j	♀	19	38	36.9°	肩凝、輕咳	潛伏結核	發病 1 ヶ月
120	██████	30 j	♂	33	59	36.9°	咳嗽、貧血、咯痰 時ニ血痰、菌 G. VII. 兩肺尖ラッセル ++ X線兩肺浸 潤空洞形成アリ	肺結核、混合型	靜養 2 ヶ年目
121	██████	9 j	♂	30	65	37.4°	咳嗽、角膜フリ クテン、菌(一)	肺門淋巴腺結核	健康診断
122	██████	22 j	♀	21	52	36.7°	胸痛、微熱、輕咳、 左背部輕濁音	肋膜炎	發病 6 ヶ月目初 診
123	██████	24 j	♂	17	37	37.3°	微熱、倦怠、菌 G. II. X線右中葉浸 潤、空洞、左僅少	肺結核、混合型	發病 1 ヶ月半、 多量咯血、數ヶ 月後死亡
124	██████	13 j	♀	25	55	37.1°	微熱、咳嗽、咯痰	肋膜炎	發病 3 週間
125	██████	34 j	♀	18	40	36.7°	胸部壓迫感、左 背部ラッセル	肺尖加答兒	發病 2 ヶ月
126	██████	22 j	♂	17	41	37.3°	微熱、全身倦怠、 菌(+), G. II	初期肺結核、増 殖型	渡滿時身體検査 ノ結果發見
127	██████	31 j	♂	18	44	37.4°	咳嗽、左肺尖ラッ セル、X線左右 肺中葉ノ薄キ浸 潤ノ陰影	初期肺結核、混 合型	發病 4 ヶ月
128	██████	31 j	♀	27	43	37.4°	嘔聲、血痰	喉頭結核、肺尖 加答兒	
129	██████	34 j	♀	18	42	36.8°	睡眠不良、感冒ニ 罹リ易シ、胸痛、X 線肺門部陰影ノ他 著變ヲ認メズ	肋膜炎	發病 1 ヶ月
130	██████	33 j	♀	25	55	37.3°	胸痛、不眠、食慾 不振、菌(一)、X 線肺門部陰影	肺門腺結核	發病 1 年 5 ヶ月
131	██████	23 j	♂	18	40	37.2°	血 痰	肺尖加答兒、増 殖型	發病 1 年
132	██████	26 j	♂	33	57	37.4°	微熱、胸痛、左 肺尖ラッセル	肺尖加答兒、増 殖型	發病 2 ヶ月
133	██████	18 j	♂	35	65	37.0°	體重減少、輕咳 食慾不振、左濁 音、X線兩肺上 葉薄影、菌(一)	肺尖加答兒、混 合型	發病 1 ヶ月
134	██████	25 j	♂	20	52	37.3°	微熱、胸痛、菌(一) X線肺門周圍陰影 右索狀陰影	肺門腺結核、肋 膜炎、増殖型	發病 3 ヶ月

	135	██████	11 j	♀	35	78	37.5°	盜汗、食慾不振	潛伏結核	健康診断、發病1ヶ月、(姉開放性結核)
	136	██████	24 j	♀	18	28	37.2°	肩凝、X線著變ナシ、菌(-)	潛伏結核	健康診断(母結核死)
	137	██████	21 j	♀	26	61	36.9°	咳嗽、喀痰、發熱、食慾不振、微熱、羸瘦、左肺ラッセル(++)、X線右肺全體浸潤陰影、菌G. V	肺結核、滲出型	發病10ヶ月
	138	██████	21 j	♀	20	65	36.6°	食慾不振、血痰、他覺的所見ナシ	潛伏結核	發病10日目
	139	██████	21 j	♂	20	33	37.5°	微熱、全身倦怠、菌(-)	初期肺結核、増殖型	發病10日
	140	██████	30 j	♂	22	65	36.6°	體重減少、左肺尖捻髪音	左肺尖加答兒増殖型	發病1ヶ月
	141	██████	25 j	♀	28	56	37.0°	肩凝、輕咳、頸腺腫脹、鳩卵大3ヶ	瘰癧	發病10日
	142	██████	21 j	♂	20	40	36.6°	盜汗	慢性腹膜炎	發病2ヶ月
	143	██████	31 j	♀	33	58	37.3°	頭痛、惡寒、食慾不振、右下葉ラッセル	初期肺結核、増殖型	發病70日
強反應 (144—218例)	144	██████	38 j	♂	72	100	37.3°	輕咳、喀痰、X線氣管枝周圍、淋巴腺、石灰化像、肺紋理一般ニ増強ス	潛伏結核、増殖型	10年前血痰、肺尖加答兒、缺動ナク出務中
	145	██████	12 j	♀	77	100	37.3°	朝、夕、咳嗽	肋膜炎	6ヶ月前濕性肋膜炎、在學中
	146	██████	21 j	♀	10	70	36.2°	食慾缺損、盜汗	潛伏結核	10日間臥牀勞務ニ従事
	147	██████	25 j	♂	42	67	37.5°	輕咳、熱、左胸輕濁音	肋膜炎	發病20日目
	148	██████	19 j	♂	50	80	36.6°	X線左肋膜肥厚	潛伏結核	3ヶ月前肋膜炎
	149	██████	33 j	♀	62	80	37.0°	全身倦怠、マンター反應(++)	潛伏結核	夫最近結核死
	150	██████	27 j	♂	61	83	36.7°	食慾不振、肺尖ラッセル	陳舊性肋膜炎、潛伏結核	5ヶ月前濕性肋膜炎
	151	██████	20 j	♂	70	88	37.2°	腹部膨滿、微熱、菌(-)、X線肋膜肥厚	肋膜、腹膜炎	發病2ヶ月靜養中
	152	██████	36 j	♂	58	88	36.8°	喀痰、菌G. IV、喀血、X線右鎖骨下鳩卵大圓形浸潤陰影	肺結核、増殖型	發病8ヶ月、人工氣胸施行
	153	██████	23 j	♂	49	76	37.5°	咳嗽、喀痰、右肺ラッセル	肺結核、混合型	6ヶ月前肋膜炎
	154	██████	22 j	♂	60	96	37.5°	熱、朝痰多シ、右肺ラッセル(++)	肺結核	2年間靜養
155	██████	23 j	♀	45	50	37.2°	主訴(-)	潛伏結核	3ヶ月前滲出性肋膜炎	
156	██████	23 j	♂	49	75	37.2°	菌G. II. X線肺尖浸潤、肺尖ラッセル(+)	初期肺結核	健康診断	
157	██████	19 j	♂	43	69	37.4°	1ヶ月以來左側胸痛	左肋膜炎	發病1ヶ月	

158	██████	18 j	♀	50	87	37.5°	咳嗽、咯血、ラッセル(+)、菌 G. III. X線右中葉著明ナル浸潤性陰影、左鎖骨下陰影	肺結核、混合型	突然咯血ヲ以テ1ヶ月前發病
159	██████	22 j	♀	78	104	36.9°	咳嗽、咯痰、體重減少、ラッセル(+)	兩側肺結核、増殖型	發病6ヶ月
160	██████	22 j	♀	45	70	37.3°	熱、朝咳嗽多シ、食慾不振、X線右肺著明ナル浸潤性陰影、菌 G. IV	肺結核、混合型	右側人工氣胸施行
161	██████	20 j	♀	60	85	37.4°	熱、咳嗽、咯痰、X線左肺上中葉濃キ浸潤性陰影、菌 G. V	肺結核、滲出型	人工氣胸施行
162	██████	20 j	♂	50	77	37.2°	輕咳	潛伏結核	發病1ヶ年
163	██████	27 j	♂	60	100	37.1°	7ヶ月前咯血、200瓦、食慾不振、ラッセル(++)	肺結核	10ヶ月來肺尖答兒加ノ治療中
164	██████	21 j	♂	80	121	36.5°	午後發熱、38.2°、咳嗽、咯痰、ラッセル(+)、菌(+)	肺結核、混合型	發病1ヶ年
165	██████	18 j	♀	48	84	36.8°	左胸痛、輕咳、時時發熱アリ、小水泡音廣汎ニアリ、X線兩肺大葉性浸潤ノ陰影著明	肺結核、滲出型	發病6ヶ月發病1ヶ年後死亡
166	██████	13 j	♀	49	55	37.5°	輕咳、食慾不振、菌(+)、X線兩肺浸潤濃陰影	肺結核、滲出型	發病2ヶ月(發病6ヶ月ニテ死亡)
167	██████	18 j	♂	80	94	37.1°	咯血20瓦、咳嗽劇甚、食慾不振、菌 G. V. 小水泡音(+)	肺結核、滲出型	發病4ヶ月(發病1ヶ年後死亡)
168	██████	18 j	♂	65	85	37.1°	血痰、菌 G. II. 小水泡音兩側(++)、X線兩肺浸潤	肺結核、混合型	發病4ヶ月
169	██████	28 j	♀	75	100	37.3°	輕咳、胸痛、盜汗、ラッセル(+)	肺尖加答兒	1ヶ年前腹膜炎ヲ病ム
170	██████	17 j	♂	38	80	37.5°	血痰ヲ以テ發病、菌(-)、咯血、X線左肺浸潤著明	肺結核、混合型	發病2週間、左人工氣胸施行、肋膜炎ヲ合併ス
171	██████	25 j	♀	80	120	37.3°	微熱、盜汗、菌(-)右背ラッセル(+) X線肺門部浸潤陰影	初期肺結核	發病8ヶ月目
172	██████	18 j	♂	56	96	37.2°	微熱、體重減少、菌 G. III. ラッセル(+) X線左肺浸潤陰影、肋膜肥厚	肺結核、増殖型	發病6ヶ月目
173	██████	38 j	♂	61	95	36.7°	嘔聲、羸瘦、咳嗽、菌 G. IV. ラッセル(+) X線右左肺浸潤、肋膜肥厚癒着	肺結核、喉頭結核、混合型	發病4ヶ月
174	██████	24 j	♂	45	82	36.5°	左腋窩輕濁音、呼氣延長	潛伏結核、肋膜炎	應召、即日歸郷
175	██████	27 j	♀	62	71	36.9°	食慾不振	肺浸潤	發病40日

176	■■■■	24 j	♂	50	75	37.2°	食慾不振、呼吸困難、X線肺尖浸潤	肺尖加答兒	發病8ヶ月
177	■■■■	30 j	♀	62	82	37.2°	微熱、全身倦怠、ラッセル(+)	肺尖加答兒	發病2ヶ月
178	■■■■	22 j	♂	70	110	37.3°	輕咳、兩肺尖ラッセル(+)	肺尖加答兒	健康診斷
179	■■■■	32 j	♀	45	82	37.1°	咳嗽、喀痰、肩凝、右肺尖ラッセル(+)	肺尖加答兒	發病6ヶ月
180	■■■■	21 j	♂	50	75	37.1°	微熱	右肺浸潤	發病35日目
181	■■■■	24 j	♀	75	115	37.5°	咳嗽、喀痰、右胸濁音	右肋膜炎、肺結核	發病5ヶ月
182	■■■■	27 j	♂	37	70	37.2°	輕咳、菌(-)、X線右肺門部浸潤陰影、左僅少	肺門浸潤、増殖型	發病2ヶ月、人工氣胸施行
183	■■■■	16 j	♂	73	116	37.5°	咳嗽、喀痰、熱、羸瘦、菌G. VII、X線右鎖骨下錫卵大浸潤陰影、左上肺陰影	肺結核、滲出型	發病6ヶ月、人工氣胸施行
184	■■■■	24 j	♀	73	105	36.8°	微熱、咳嗽、喀痰、X線兩肺浸潤陰影	肺結核、滲出型	發病1ヶ月、兩側人工氣胸施行
185	■■■■	31 j	♂	56	86	36.7°	微熱、食慾不振、血痰、菌(-)、X線肺門腺腫脹、肺尖陰影	初期肺結核、増殖型	發病20日
186	■■■■	30 j	♂	40	54	37.5°	咳嗽、喀痰、胸痛(左)、左背部小水泡音	左肺結核	發病3ヶ月
187	■■■■	25 j	♀	43	88	36.3°	下痢、咳嗽、喀痰、嘎聲、兩肺ラッセル、X線左肺浸潤濃陰影、右肺僅少	肺結核、腸結核、喉頭結核	發病5ヶ月死亡
188	■■■■	29 j	♀	48	71	37.5°	右胸痛、咳嗽	肋膜炎	發病10日
189	■■■■	20 j	♀	56	98	37.5°	食慾不振、咳嗽、兩肺尖ラッセル	肺尖加答兒	發病2ヶ月
190	■■■■	22 j	♂	40	65	37.0°	極メテ僅カノ咳嗽	潛伏結核	現役、神戸集合時精密検査ノ結果即日除隊、主人ハ結核靜養中
191	■■■■	20 j	♀	43	66	平熱	喀痰多量、左右背部ラッセル	慢性氣管枝炎	發病10年、3年前クループ性肺炎
192	■■■■	18 j	♀	44	85	37.4°	輕咳、左胸痛	潛伏結核	發病1ヶ月
193	■■■■	24 j	♀	42	58	36.9°	咳嗽、喀痰、肩凝、左肺尖ラッセル	肺尖加答兒	發病20日
194	■■■■	22 j	♂	67	104	37.5°	咳嗽、熱、食慾不振、右肺全體ラッセル(++)左同様	肺結核、滲出型	發病5ヶ月
195	■■■■	23 j	♂	45	81	37.4°	咳嗽甚シ、咯血、食慾不振、菌G. II	肺結核、滲出型	發病1年
196	■■■■	14 j	♂	58	90	37.1°	體重減少、咳嗽、X線左右肺浸潤陰影	初期肺結核、増殖型	發病1ヶ月

197	██████	21 j ♀	40	76	37.4°	咳嗽、食慾不振、 體重減少、菌 G. B. X線左肺上中 葉陰影	左肺結核、混合 型	發病1ヶ年、左 肋膜癒着アリ、 人工氣胸療法施 行
198	██████	23 j ♀	43	70	36.9°	微熱、咳嗽、咯 痰、下痢、左肺 ラッセル(++)	左肺結核、混合型	發病6ヶ月
199	██████	17 j ♂	75	100	37.2°	微熱、貧血、羸瘦、 咯血、左全肺濁音 ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病5ヶ月(死亡)
200	██████	30 j ♀	62	82	37.2°	微熱、全身倦怠	肺尖加答兒、混 合型	發病3ヶ月
201	██████	20 j ♀	80	120	36.4°	胸痛、食慾不振、 輕咳、左乾性ラッ セル	肋膜炎	發病1ヶ月
202	██████	17 j ♀	53	75	36.6°	咳嗽、咯痰、盜 汗、菌(-)、呼 吸促進、兩肺全 ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病4ヶ月
203	██████	25 j ♀	66	83	36.7°	背痛、肩凝、左肺 下葉ラッセル(+)	潜伏結核	發病1週間
204	██████	20 j ♂	18	76	36.9°	中肺葉ラッセル、 X線右肺門浸潤	肺浸潤、纖維素型	發病1ヶ月
205	██████	32 j ♂	65	95	37.5°	熱、咯血、羸瘦、 衰弱、右肺全般ラッ セル、肋膜肥厚	肺結核、滲出型	再發
206	██████	29 j ♂	44	110	37.3°	咳嗽、熱、盜汗、 羸瘦、左右ラッセル (++)	肺結核、滲出型	再發
207	██████	44 j ♀	45	78	37.2°	微熱、輕咳、右 ラッセル僅少	潜伏結核	健康診断、(息1 ヶ月前結核死)
208	██████	25 j ♂	75	95	37.0°	胸痛、咳痰	肋膜炎	發病15日目
209	██████	29 j ♂	42	85	37.4°	右門周圍痛、輕咳 左肺ラッセル僅少	痔瘻、肺尖加答 兒、增殖型	發病1ヶ月
210	██████	24 j ♂	42	98	36.4°	咳嗽、體重減少、 食慾不振、左下 葉捻髮音	肺結核、混合型	發病1ヶ年(父 母結核死)
211	██████	27 j ♂	45	75	37.1°	嘎聲、微熱、右 下葉ラッセル	喉頭結核	發病6ヶ月
212	██████	24 j ♀	40	51	37.2°	微熱、體重減退、 兩肺小水泡音、菌 (-)、X線左右肺 野均等ノ陰影アリ	肋膜炎、肺浸潤	發病3年
213	██████	30 j ♂	45	78	37.5°	咳嗽、惡寒、熱、 體重減少、食慾 減退、菌(-)	左肋膜炎、肺尖 加答兒、滲出型	發病1ヶ月
214	██████	23 j ♀	50	75	36.8°	肩凝、左呼吸音 微弱	肋膜炎、潜伏結核	濕性肋膜炎、治 癒後
215	██████	19 j ♀	67	105	36.9°	左頸部淋巴腺腫、 左肺尖ラッセル	癭癭兼肺尖加答兒	發病3ヶ月
216	██████	26 j ♀	46	82	36.7°	血痰、右下葉ラッ セル	右初期肺結核	發病5ヶ月
217	██████	26 j ♀	51	69	37.1°	咳嗽、咯痰、菌 G. B. 左右肺ラッセル (++)	肺結核、滲出型	最近發病
218	██████	27 j ♀	48	95	36.7°	マンロー反應 (++)	潜伏結核	夫結核死

最強反應 (219—250例)	219	██████	55 j	♂	103	120	37.2°	盜汗、胸痛	肋膜炎	發病 1 ヶ月
	220	██████	39 j	♂	100	130	37.5°	咳嗽、喀痰、肺尖ラッセル、菌 G. IV	肺結核、滲出型	發病 3 ヶ月
	221	██████	38 j	♀	115	128	37.4°	咳嗽、喀痰(++)、熱、盜汗、X線左肺上葉空洞浸潤陰影アリ、左右肺ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病 6 ヶ月
	222	██████	22 j	♀	112	126	37.4°	咳嗽、微熱、X線左右肺浸潤	初期肺結核、混合型	再發
	223	██████	21 j	♂	115	122	平熱	咳嗽、喀痰 ++、左肺ラッセル(++)、X線左肺均等廣泛陰影著明、空洞	肺結核、滲出型	2 ヶ年來靜養
	224	██████	8 j	♂	105	120	37.2°	微熱、咳嗽、肺尖ラッセル(++)、X線菌 G. III. 右細葉性結核病竈、左肺一般ニ薄影	肺結核、滲出型	兄 1 年前ニ肺結核死
	225	██████	33 j	♀	90	110	36.8°	1 ヶ月前咯血、50瓦、咳嗽、食慾不振	肺結核	夫、結核死
	226	██████	27 j	♀	78	125	37.6°	熱、咳嗽、喀痰、菌 G. V. X線左肺全般ニ細葉性病變アリ、空洞(++)	肺結核、滲出型	發病 2 週間、人工氣胸術
	227	██████	30 j	♀	107	133	37.6°	咳嗽、喀痰、熱、菌 G. VII. 胸部全體ラッセル(++)、X線左浸潤濃陰影、右僅少、輕性病竈散在	肺結核、滲出型	發病 2 ヶ月
	228	██████	52 j	♀	106	130	36.0°	輕咳、食慾不振、菌 G. III. 小水泡音全肺ニアリ、X線左右肺浸潤陰影	肺結核	發病 3 ヶ月
	229	██████	26 j	♀	91	120	37.3°	熱、咳嗽、喀痰、右肺大、中水泡音(++)、菌 G. V. X線右肺浸潤陰影著明、肋膜肥厚アリ	肺結核、混合型	發病 3 ヶ年、再發 1 ヶ年死亡、(兄弟 3 人結核死)
	230	██████	49 j	♂	109	120	36.9°	咳嗽、喀痰、肩凝、喀痰、菌 G. V	肋膜炎、肺結核、滲出型	發病 1 ヶ年、(發病 3 ヶ年後死亡)
	231	██████	38 j	♀	104	127	37.2°	全身倦怠、食慾不振、左ラッセル(++)、X線左大葉性濃陰影、肋膜肥厚	左肺結核、滲出型	發病 5 ヶ月
	232	██████	32 j	♀	85	118	37.1°	微熱、咳嗽、喀痰、右肺尖ラッセル(+)	肺尖加答兒	發病 4 ヶ月
	233	██████	40 j	♂	88	112	37.3°	咳嗽、喀痰(血痰)、微熱	肺結核、滲出型	發病 1 年 3 ヶ月
234	██████	41 j	♂	135	140	37.4°	咳嗽、喀痰、浮腫、左肺濁音	左肋膜炎、腎臟炎	發病 50 日	
235	██████	21 j	♂	100	125	37.5°	咳嗽、嘔聲、右上葉ラッセル、X線、右上葉早期浸潤、空洞形成初期	喉頭結核、右肺結核	發病 4 ヶ月、徵兵検査ニテ發見人工氣胸施行	

236	██████	21 j	♂	88	113	37.2°	咳嗽、咯痰、食慾不振、右腋下ラッセル(++)	肋膜炎	發病 6 ヶ月
237	██████	32 j	♂	92	110	36.7°	咳嗽、咽頭痛、右肺尖ラッセル	肺尖加答兒、喉頭結核	發病 4 ヶ月
238	██████	30 j	♂	95	130	37.5°	微熱、咳嗽、右背ラッセル、X線右肺上中葉滲出型陰影	肺結核、滲出型	發病 7 ヶ月、人工氣胸
239	██████	18 j	♀	86	105	36.2°	食慾不振、咳嗽、體重減少、X線右肋膜肥厚、左肺上葉萎縮	肋膜炎、肺尖加答兒、混合型	發病 8 ヶ月
240	██████	23 j	♀	86	110	37.1°	血痰、菌(-)、體重減少、X線右肺浸潤陰影、肋膜肥厚	肺尖加答兒、滲出型	發病 8 ヶ月
241	██████	17 j	♀	115	136	37.1°	咳嗽、咯痰、食慾不振、盜汗、左右全肺ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病 1 年 4 ヶ月 (後 1 ヶ年ニテ死亡)
242	██████	21 j	♂	88	110	36.9°	體重減少、微熱、右腋下ラッセル(++)	初期肺結核、滲出型、痔瘻	發病 1 年 6 ヶ月
243	██████	28 j	♀	89	110	37.3°	熱、輕咳、背部全肺ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病 2 ヶ月
244	██████	18 j	♀	110	125	36.8°	咳嗽、咯痰、左肺尖ラッセル(++)	肺尖加答兒、増殖型	發病 1 ヶ月、人工氣胸施行
245	██████	20 j	♀	103	120	37.2°	輕咳、微熱、菌(-)、X線右上葉浸潤陰影	初期肺結核、混合型	發病 1 ヶ月
246	██████	17 j	♀	105	121	37.5°	咳嗽、食慾不振、兩肺ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病 1 ヶ月、(發病 3 ヶ月死)
247	██████	10 j	♂	84	122	37.3°	食慾不振、體重減少、熱	肺浸潤、肺門淋巴腺結核	發病 8 ヶ月、(兄結核治癒)
248	██████	32 j	♂	105	117	37.5°	咳嗽、羸瘦、呼吸促進、貧血、左肺尖ラッセル	左肺結核、腹膜炎、痔瘻	發病 2 ヶ月
249	██████	41 j	♀	142	156	37.5°	羸瘦、貧血、時々發熱(39.0°)、下腹部疼痛、X線胸部變化ナシ	子宮附屬器炎	發病 3 ヶ月
250	██████	23 j	♀	102	112	37.4°	肩凝、X線左下葉細葉性結核病竈	肺結核、混合型	健康診断(妹結核死)

第 9 表 高熱ト赤血球沈降速度トノ關係

No.	姓名	年齢	性	初診時赤沈反應、ウェスタグレン値		初診時體溫	主訴 X 線及臨牀所見	診 斷	備 考
				1 時間	2 時間				
1	██████	25 j	♂	4	17	38.2°	咳嗽、咯痰、高熱、食慾不振、菌 G、IV、X線右上中肺野陰影、右氣管枝周圍淋巴腺石灰化像	肺結核、混合型	發病 6 ヶ月 (後死亡)
2	██████	25 j	♀	30	60	38.2°	咳嗽、咯痰(++)、胸痛	濕性肋膜炎	最近發病

3	██████	26 j	♂	34	54	37.8°	盗汗、胸痛	肋骨カリエス、 右肺炎加答兒	發病3ヶ月
4	██████	18 j	♀	34	65	38.0°	熱、食慾不振、 羸瘦、左肺炎ラッ セル、右側胸濁 音	右肋膜炎、左肺 尖加答兒	發病2ヶ月(死 亡)
5	██████	9 j	♂	47	85	38.4°	脛部淋巴腺腫脹、 食慾不振、腹部 膨滿	肋膜炎、腹膜炎、 瘰癧	發病2ヶ月
6	██████	14 j	♀	60	100	39.6°	高熱	肺浸潤	
7	██████	40 j	♂	65	101	38.0°	咳嗽、喀痰、羸瘦、 菌 G. IX. X線兩 肺全般ニ浸潤陰影 著明、胸部全體ラッ セル(++)	肺結核、滲出型	發病7ヶ月(死 亡)
8	██████	39 j	♂	69	105	38.0°	咳嗽、喀痰(++)、 熱、菌 G. X. 肺廣 汎ラッセル、(++) X 線兩肺野浸潤陰影	肺結核、滲出型	發病1年5ヶ月 (死亡)
9	██████	52 j	♀	75	88	38.0°	咳嗽、血痰、菌 G. II. ラッセル(++)	肺結核、滲出型	發病3ヶ月
10	██████	21 j	♂	51	91	38.8°	咳嗽、喀痰、貧血、 羸瘦、菌 G. VII. X線右肺浸潤著明 左僅少	肺結核、滲出型	發病1ヶ月、人 工氣胸施行
11	██████	16 j	♀	40	80	37.7°	發熱、尿意頻數	腎臟結核、肺門 淋巴腺結核	發病3ヶ月
12	██████	20 j	♂	60	80	37.7°	右胸濁音、ラッセ ル(++)	肺結核、混合型	5ヶ月前感冒ニ カ、リ、4ヶ月 後身體検査ニヨ リ發見サル
13	██████	20 j	♀	59	82	38.2°	咳嗽、熱、右肺 ラッセル	肺炎加答兒	發病1ヶ月
14	██████	26 j	♀	65	110	38.0°	咳嗽、喀痰、熱、 時々下痢、呼吸促 迫、貧血、兩肺ラッ セル(++)	肺結核、滲出型	發病1ヶ年(死 亡)
15	██████	24 j	♀	70	102	38.9°	咳嗽、羸瘦、食 慾不振、右肺ラッ セル(++)	肺結核、滲出型	發病1ヶ月
16	██████	25 j	♀	65	98	38.2°	咳嗽、喀痰、血 痰、左肺ラッセ ル(++)、右僅少	肺結核、混合型、 腹膜炎	發病6ヶ月
17	██████	20 j	♀	94	135	38.2°	咳嗽、食慾不振、腹 部緊張膨滿、右肺 ラッセル(++)	肋膜炎腹膜炎	發病2ヶ月(死 亡)
18	██████	19 j	♀	85	105	39.5°	熱、食慾不振、 體重減少、兩肺 ラッセル(++)	兩側肺結核、左 肋膜炎	發病2ヶ月
19	██████	21 j	♀	89	106	38.0°	熱、咳嗽、喀痰、 菌(-)、左右ラッ セル(++)、X線 左右肺浸潤陰影 殊ニ右著明	肺結核、滲出型	發病2週間(人 工氣胸施行)
20	██████	36 j	♂	97	100	38.0°	惡寒、咳嗽、盜 汗、食慾不振	肋膜炎	發病1ヶ月
21	██████	22 j	♂	72	95	37.8°	左濁音、X線左鎖 骨下浸潤(鶏卵大) 肋膜炎肥厚	左肋膜炎兼肺浸潤	現役、大阪集合精 密診査ノ結果即日 歸郷

22	██████	30 j	♂	140	152	38.4°	嘔聲、喉頭痛、咳嗽、咯痰、食慾不振、肺全體ラッセル(卅)	肺結核、喉頭結核	再發(死亡)
23	██████	38 j	♂	100	125	38.2°	高熱、咳嗽、左肺ラッセル(卅)	肺結核	9ヶ月前ニ痔瘻手術ヲ施行
24	██████	17 j	♂	100	125	38.2°	咳嗽、咯痰、大咯血、貧血、右側ラッセル(卅)、X線兩肺浸潤陰影、右鎖骨下鶏卵大、空洞ヲ認ム	肺結核、滲出型	發病1ヶ月(死亡)
25	██████	20 j	♂	110	120	39.0°	血痰、頭痛、睡眠不良、腹部膨滿、右胸濁音、X線右側肋膜肥厚、菌(一)	肋膜、腹膜炎	結核性腦膜炎ヲ合併シ死亡ス
26	██████	30 j	♂	85	121	39.5°	咳嗽、咯痰、熱、菌 G. V. 右肺ラッセル(卅)、左肺僅少、X線兩肺浸潤著明	肺結核、混合型	發病2ヶ月(人工氣胸施行)
27	██████	23 j	♂	140	145	38.8°	咳嗽、高熱、咽頭痛、嘔聲、食慾不振	喉頭結核、肺結核、滲出型	發病1ヶ年
28	██████	50 j	♀	104	107	38.0°	咳嗽、咯痰、食慾不振、菌 G. IX. 兩肺全體ラッセル(卅)	肺結核、滲出型	發病3ヶ月(死亡)
29	██████	50 j	♀	115	120	37.8°	咳嗽、咯痰、食慾不振、嘔聲、菌 G. X. 兩肺全體ラッセル(卅)	肺結核、喉頭結核、滲出型	發病2ヶ月
30	██████	31 j	♂	102	130	38.4°	食慾不振、咳嗽、咯痰、熱、睡眠不足	肺結核、肋膜腹膜炎	發病3ヶ月
31	██████	30 j	♀	125	135	37.7°	高熱、兩側肺ラッセル、左胸濁音	肋膜腹膜炎、滲出型	發病6ヶ月(死亡)
32	██████	43 j	♂	105	120	37.6°	嘔聲、咳嗽、食慾不振、不眠、肺全體ラッセル(卅)	喉頭結核、肺結核	發病5ヶ月
33	██████	27 j	♂	125	135	37.6°	咳嗽、咯痰、左前胸部ラッセル濁音、右背部ラッセル	開放性肺結核	發病8ヶ月(死亡)
34	██████	24 j	♀	120	130	38.5°	咳嗽、咯痰、菌 G. VII. 右全肺ラッセル、X線左右著明浸潤アリ	肺結核	發病4ヶ月、人工氣胸施行(死亡)
35	██████	31 j	♀	130	140	38.5°	咳嗽、咯痰、熱、左肺上下葉ラッセル(卅)、X線左上葉空洞アリ、浸潤陰影著明	肺結核	發病3ヶ月、人工氣胸施行(死亡)
36	██████	38 j	♂	97	120	37.6°	咳嗽、咯痰、嘔聲、左上葉ラッセル	肺結核、喉頭結核	發病2年2ヶ月(死亡)
37	██████	38 j	♂	105	125	38.0°	咳嗽、咯痰、嘔聲、兩肺ラッセル(卅)	肺結核、喉頭結核	發病4ヶ月(死亡)
38	██████	18 j	♂	114	130	38.5°	咳嗽、食慾不振、右左胸部濁音、ラッセル(卅)、X線肋膜肥厚、肺ノ陰影僅少	肋膜炎	發病50日(再發死亡)

39	██████	19 j	♀	92	98	38.1°	咳嗽、高熱、肩凝、左肺ラッセル(++)、X線左肺浸潤陰影	肺結核、肋膜炎、滲出型	發病3ヶ月、人工氣胸(治愈)
40	██████	13 j	♀	100	115	38.0°	咳嗽、盜汗、左全肺ラッセル、右僅少	氣管枝炎	發病1ヶ月
41	██████	22 j	♀	93	115	37.7°	咳嗽、熱、下痢、菌 G. V. 右全肺ラッセル(++)	右肺結核	發病50日、人工氣胸施行
42	██████	32 j	♀	95	110	39.0°	咳嗽(++)、熱、咯血、兩肺背部ラッセル(++)	肺結核	發病2ヶ月
43	██████	20 j	♀	82	120	38.5°	咳嗽、咯痰、熱、下痢、X線左上葉浸潤陰影、右全葉混合型陰影	腸結核、肺結核、滲出型	發病4ヶ月(死亡)
44	██████	53 j	♂	118	128	38.0°	食慾不振、熱、羸瘦、咯痰、左胸濁音著明、ラッセル(+）、菌(-）、X線左肋膜肥厚	肋膜炎	發病8ヶ月(腦膜炎併發死亡)
45	██████	17 j	♀	110	122	39.0°	咳嗽、咯痰、菌 G. VI.	肺結核、滲出型	發病7ヶ月(死亡)
46	██████	22 j	♀	141	145	39.0°	咳嗽、咯痰、熱、菌 G. X. 左胸全體ラッセル	肺結核、滲出型	發病5ヶ月(死亡)
47	██████	29 j	♂	105	114	39.3°	嘔聲、咳嗽、咯痰、左背部ラッセル	喉頭結核、肺結核、滲出型	發病6ヶ月(死亡)
48	██████	30 j	♂	115	144	38.0°	輕咳、熱、羸瘦、貧血、右全肺ラッセル	右肺結核、滲出型	人工氣胸施行(死亡)
49	██████	35 j	♀	154	156	38.5°	極度ノ貧血、食慾不振、高熱、尿蛋白(++)	産褥熱、妊娠腎炎	發病1週間、發病數ヶ月
50	██████	10 j	♀	110	126	38.0°	咳嗽、兩肺小水泡音	毛細氣管枝炎	發病1週間

今、過去5ヶ年間ニ於ケル1800餘名ノ検査ヲ基調トシ其ノ總括的結論ヲ述ブレバ左ノ如シ。

1. 赤血球沈降速度ハ肺結核ノ活動性、停止性ヲ判定スル最モ價値アル診斷法ナリ。
2. 沈降速度ハ結核病變ノ活動性ト組織破壊ノ大サト平行シテ促進スルモノニシテ體溫ヨリモ肺結核治愈ノ標準トナル場合アリ。
3. 體溫ノ高低ヤ結核菌ノ有無ト沈降速度トハ常ニ平行スル者ニ非ザルモ沈降速度ノ大ナルモノニ熱ノ高キ事多ク又結核菌ヲ證明スルコト多シ。
4. 滲出性結核ノ場合ヤ空洞性肺結核ノ場合ニ於テセラ赤沈反應正常ナルコトアリ。正常赤沈値必ズシモ絶對的ニ豫後佳良ナラザル場合アリX線、打聽診上ノ所見ト相俟ツテ診斷的價値ア

ルヲ認ム。

5. 病竈ノ廣狹ニ就テハ病竈廣クトモ纖維素型ニシテ輕熱、榮養可良ノ者ハ沈降速度遲延ス。
6. 肋膜炎ノ場合ハ肋膜炎ノ種類ニ依リテ異ニシ、滲出性肋膜炎ノ場合ハ一般ニ著明ニ促進ス。其促進ノ度ハ滲出液ノ分量ト殆ンド相一致スルヲ認ム。結核性肋膜炎ノ場合ハ長期間此ノ沈降速度ハ促進ス。肋膜炎發病初期、陳舊性肋膜炎又ハ炎症ノ消褪セルモノ、多クハ沈降速度ハ正常値又ハ限界値ニ復歸シ現在炎症、症狀アル著明ナ肋膜炎ニアリテハ沈降速度ノ促進スルコト恰モ活動性肺結核ノ場合ニ等シ。
7. 結核性腹膜炎ニ於テモ肋膜炎ノ場合ト殆ンド同様ニシテ滲出液發生ト共ニ沈降速度ハ促進

- シ滲出液吸收セラル、ヤ再ビ遅延ス。
8. 腎臟結核ニアリテハ赤沈反應ノ促進規則正シカラズ。
 9. 肺門淋巴腺結核ニ於テハ余ハ促進セザルモ其ノ周圍ニ浸潤アルモノハ稍々促進ス。淋巴腺結核(例瘰癧)化膿スレバ沈降速度ハ促進スルコト多キモ餘リ著大ナラズ。
 10. 腸結核ニシテ下痢甚ダシキ時ハ著明ニ促進シ強乃至最强反應ヲ呈スルモノ甚ダ多シ。
 11. 咽頭喉頭結核ニシテ咽喉痛甚ダシク食物攝取不能ノ場合竝ニ嘔吐ヲ來ス患者ノ赤沈速度ハ著シク促進ス。
 12. 余ノ5ケ年間ニ於ケル統計ニ依レバ、赤沈反應初診時1時間値100耗以上アル者ノ80%ハ1年内外ニ死亡セリ。後ノ20%ハ良性結核肋膜炎若シクハ非結核性疾患(急性慢性氣管枝炎、肺壞疽、貧血(極度ノモノ)等)ニシテ全治者中ニハ「妊娠腎炎、貧血兼產褥熱」ニシテ1時間値154耗。「子宮附屬炎竝ニ貧血」甚シク1時間値142耗アリシモノアリ兩者共ニ一時生命危篤ヲ傳ヘラレタルモ全治セリ。
 13. 微熱患者780名ニ就テノ調査ニ依レバ赤沈反應、正常値ニアル者120名(15.4%)限界値70名(9.0%)ニシテ赤血球沈降速度促進セルモノ75.6%(弱反應60名(7.7%)中等反應60名(20.5%)強反應250名(32.0%)最强反應120名(15.4%))ヲ算シ大人微熱ト沈降速度トハ密接ナル關係アルヲ認ム。

14. 結核初診患者1800名ニ就テノ調査ニ依レバ88.0%、37—37.5度ノ微熱ヲ示シ大人ノ微熱ト結核トハ密接ナル關係ヲ示ス。以上ノ所見ニ依ツテ見ルモ赤血球沈降速度ノ測定ハ今日ニ於テハ診斷ハ勿論、病氣ノ輕重病勢ノ狀態竝ニ肺結核後判定上必要缺クベカラザル検査法トナレリ。素ヨリ唯1回ノ検査ニテハ誤リ無キヲ期シ難キモ時日ヲ置キ數回ノ検査ヲ行ハバ打聽診上ノ所見、「レントゲン」検査ノ所見ト相一致シ結核病勢ノ如何ヲ診斷シ得ベシ。併シ中ニハ例外アリ開放性結核患者ニシテ正常値ヲ示スモノアリ、肺門淋巴腺結核ノ場合モ著シク促進セザルヲ常トセリ。赤血球沈降速度ハ結核病變ノ活動性竝ニ組織破壊ノ大サニ平行シ促進スルモノニシテ體溫ヨリ肺結核診斷ノ標準トナル場合アリ。小兒胸部結核性疾患ノ場合ニ於テモ赤血球沈降速度ハ一般ニ促進スルト云ハル、モ小兒ハ餘リ重篤ナラザル氣管枝炎ニテ50—8.90耗ノ促進ヲ來スコトアリ大人ノ場合トハ大イニ趣ヲ異ニスル場合稀ナラズ。以上ノ見解ヨリスルモ「ツベルクリン」反應ト赤沈反應竝ニ兒童ノ微熱ト赤沈反應トハ深キ關係アル事ハ誰シモ想像スル所ナリ。然ルニ余ガ農村學童ニ就テ行ヒタル成績ニ依レバ兩者ノ間ニ特別ナル關係アリト認メ難ク其ノ成績ハ第7,8章ニ記載スルガ如シ。

第 6 章 學童赤血球沈降速度反應ノ概要竝ニ男女性別トノ關係

第 10 表 學童赤血球沈降速度(1時間値)概要一覽表

沈降速度(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
	1—11	12—19	20—49	50以上	
性別					
男	104	40	16	1	161
%	64.6%	24.8%	9.9%	0.6%	
女	83	25	17	0	125
%	66.4%	20.0%	13.6%	0	
男女計	187	65	33	1	286
%	65.5%	22.4%	11.8%	0.3%	

検査人員286名(男161名、女125名)男女反應別人員、竝ニ其ノ百分率ヲ表示スレバ第10表ノ如シ。以上ノ表ニ依リテ見ルニ赤沈反應1時間値1—11耗正常値ニアルモノ65.5%、限界値ヲ示スモノ22.4%、20—49耗ノ弱反應ヲ示スモノ11.8%、強反應50耗以上0.3%ア

リ、1時間値12耗以上ノモノ34.5%ナリ。更ニ之ヲ男女別ニ觀察スレバ正常値ノモノハ男女略々同率ナリ。限界値ノモノハ男24.8%、女20.0%ニシテ男ハ女ニ比シ4.8%多ク弱反應ニアリテハ女ガ男ニ比シ3.7%高率ナリ。而シテ外見

健康ナル兒童ニシテ赤沈促進セルモノ(1時間値12耗以上ノ者)34.5%アルモ之ガ如何ナル理由ニ基クカヲ探究スルハ甚ダ興味アル問題ナルモ、本論ニ就テハ他日稿ヲ改メテ詳述セントス。

第 7 章 赤血球沈降速度ト「マントー」反應トノ關係

第 1 節 赤血球沈降速度(1時間値)ト「マントー」反應トノ關係

第 11 表 赤沈(1時間値)ト「マントー」反應トノ關係

反應性別	沈降速度(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
		0-11	12-19	20-49	50→	
陰性	男	90	37	16	1	144
	女	71	24	13	0	108
	計	161	61	29	1	252
陰性者(%)		63.9%	24.2%	11.5%	0.4%	
陽性	男	14	3	0	0	17
	女	12	1	4	0	17
	計	26	4	4	0	34
陽性者(%)		76.5%	11.7%	11.7%	0	

ニテ對比スレバ陰性者ヨリ陽性者ノ方却ツテ正常値ニ12.6%多シ。「マントー」反應陽性者ニシテ赤沈反應限界値竝ニ弱反應ニアルモノ各11.7%アリ。之ヲ陰性者ノソレト比較スルニ「マントー」反應陽性者必ずシモ赤沈反應促進スルモノニアラス。即チコ、ニ農村學童ノ「マントー」反應ト赤血球沈降速度反應トノ特別ノ關係ハ認メ得ラレズ。然レドモ所謂健康學童中ヨリ結核患者ヲ發見スルニ當リテハ赤血球沈降

本表ヲ見ルニ「ツベルクリン」反應陽性者ニ赤沈反應ノ正常値ナル者最モ多シ(76.5%)。百分率

速度ハ大ナル意義ヲ有スルモノト認ム。

第 2 節 赤血球沈降速度「S. M. R」ト「マントー」反應トノ關係

第 12 表 赤沈平均速度ト「マントー」反應トノ關係

マントー反應	赤沈速度(耗)	正常値	弱反應	中等反應	強反應	最強反應	計
		0-9	10-20	21-40	41-60	60→	
(-)		101	122	27	2	0	252
(-)(%)		40.1%	48.4%	10.7%	0.8%		
(+)		15	9	4	0	0	28
(++)		3	0	1	0	0	4
(+++)		0	3	0	0	0	3
計		18	12	5	0	0	35
陽性(%)		51.4%	34.3%	14.3%	0	0	

(註)

$S.M.R. = \frac{1}{2} (A + \frac{B}{2}) =$ 依リ算定
 S.M.R.……1時間ト2時間トノ平均速度
 A………1時間ノ速度
 B………2時間ノ速度

兒童ニ依リ1時間値ト2時間値トニ於テ著シキ遲速ノ度ヲ異ニスル者アリ、依テ1時間値ト2時間値トノ平均速度ヲ以テ「マントー」反應ト比較檢討スルニ赤沈反應正常者ニ「マントー」反應陽性者51.4%アリ、陰性者ハ40.1%ニシテ陽性

者ニ赤沈反應正常ノモノ多シ。又赤沈弱反應(10-20耗)ニ於テハ陰性者48.4%陽性者32.4%ニシテ却ツテ陰性者ニ赤沈反應ノ促進セルモノ多シ。中等反應ニ於テハ陰性者10.7%陽性者14.7%ニシテ陽性者ニ促進セ

ルモノ多シ。又強反應ハ陰性者ニ0.8%アルニ拘ラズ陽性者ニハ1名モナシ。即チ赤沈平均速度ヲ以テ「マントー」反應ヲ觀察

スルニ中等反應ニ於テノミ陽性者4.0%多ク正常、弱反應、強反應ニ於テハ陰性者多ク一般ニ赤沈反應ハ陰性者ニ促進セルヲ認ムル狀態ナリ。

第3節 從來報告サレタル學童ノ「ツベルクリン」反應ト赤血球沈降速度トノ關係

第 13 表 從來報告サレタル學童ノ「ツベルクリン」反應ト赤血球沈降速度トノ關係比較

報告者	報告ノ結論及ビ要旨
山田	「ツベルクリン」反應陽性者ハ陰性者ニ比シ沈降速度一般ニ大ナリ。
猪又	赤沈反應ト「マントー」反應陽性者トノ間ニハ密接ナル關係アルモ沈降速度1時間値20耗以上ノモノハ却ツテ強陽性者ニハ少イ。
田川	「ツベルクリン」反應強陽性ナル程赤沈速度ノ平均値(S.M.R.)ハ大ナルモ陽性者ニシテ赤沈値ノ正常ナルモノ少ナカラズ。
相澤	赤沈1時間値20耗以上ノモノハ「ツベルクリン」反應陰性者ニ却テ多ク赤沈ヲ論ズルニ一考ヲ要ス。
石田 (宮城縣村落)	「ツベルクリン」反應陽性者60%内外ニ赤沈速度ノ促進ヲ認メタリ。
清水	函館高女1023名中「ツ」陽性者499名赤沈速度ハ89.3%ニ於テ正常、而モ結核生徒29名中54.5%ハ正常ナリキ。函館市小學校教職員9名中、2名ノミガ中等度ノ促進ヲ示シ他ハ正常ナリキ。結核發見ニ際シ赤血球沈降速度ハ大ナル意義ヲ有セズ。
井下、黃楊	大阪府綿製品工場女工2483名ニ就テ調査シタルニ、女子赤沈値1時間31耗以上ナル者、「マントー」反應陰性者ニテハ3.2%ナルニ、中等度及ビ強度陽性者ニテハ8—10%ノ多キヲ見タリ。從ツテ赤沈促進ハ結核感染ト何等カノ關係アルヲ思ハシム。
砂川	奈良縣小、中等學校生徒男261名、女136名ニ就テ調査シタル成績ニ依レバ、赤沈促進者ハ男女ヲ通ジテ「マントー」反應陽性者殊ニ強陽性者ニ多シ。
延島	茨城縣山麓農村學童286名ニ就テ赤沈反應ヲ検査シタル者ノ内「マントー」反應陽性者34名アリ。コノ内76.5%ハ赤沈正常値ニアリ、11.7%ハ限界値ニ、更ニ11.7%ハ20—49耗ノ間ニ在リ、之ヲ陰性者ノ赤沈速度ト比較スルニ赤沈反應ト「マントー」反應トハ特別ノ關係アリト認メ得ズ、然レドモ所謂健康學童中ヨリ結核患者ヲ發見スルニ當リテハ赤血球沈降速度ハ大ナル意義ヲ有スルモノト認ム。

太田、浦島氏等ノ報告ニ依レバ39例ノ「マントー」反應陽性者ニ就テ調査シタル其ノ平均値強陽性13例ハ1時間値19.3耗、2時間値26.4耗、中等度陽性14例ハ1時間値21.7耗、2時間値36.8耗、弱陽性12例ハ1時間値15.6耗、2時間値19.6耗ヲ示シ、正常小兒赤血球沈降速度ハDehoff氏ニ依レバ1—4歳迄6—7耗、3—6歳迄5—6耗、7—8歳迄3—4耗、9—14歳迄2—3耗ニシテAroni氏ニ依ルモ、5—10耗ヲ超エズ、氏等ノ成績ニ比スル時ハTrias氏ノ報告ノ如ク遙カニ沈降速度ノ促進セルヲ認ムト云フモ大學病院小兒科ヲ訪レン外來及ビ入院患者67名ニ就テ「マントー」反應ヲ検査シタル内ノ陽性者ノ赤沈反應ヲ検査セルモノニシテ斯クノ如キ例症ニ就テ赤沈促進スルコトハ想像ニ難カラザル所ニシテ所謂健康兒童ト見做シ難キヲ以テ本表ヨリ度外視セリ。

要之「ツベルクリン」反應ハ結核菌感染ニ對スル個體ノ「アレルギー」反應ニシテ此ノ反應ハ疾患ノ強弱ト必ズシモ平行スルモノニ非ズ又赤沈反

應モ結核ノミニ特異ノ反應ニ非ズ他ノ疾患ニテモ促進スル場合アリ兩者ガ全く相一致スベキモノナラザル事ハ何人モ認ムル所ナリ。

第8章 赤血球沈降速度ト體溫トノ關係(其1)

本校學童283名(11歳、12歳、13歳、14歳)ニ就テ

赤血球沈降速度ヲ測定シ之ト體溫トノ關係ヲ檢

討スルニ第 14 表ノ如シ。

抑、小兒胸部結核性疾患ノ場合ニ於テハ赤血球沈降速度ハ大體促進シ體溫ハ之ニ伴ツテ上昇ス。即チ赤沈反應ト體溫トハ殆ンド正比例スルヲ常トシ結核ト微熱、熱ト赤沈反應トハ密接ナル關係アル事ハ既ニ周知ノ事實ナリ。然ラバ赤沈反應ト體溫トノ間ニモ密接ナル關係ニアルベキヲ豫想シ調査シタルニ次ノ結果ヲ得タリ。

即チ赤沈正常値ニ無熱者 52.7%、37 度以上ノ所謂有熱兒童 70.1%アリ。

有熱者ニ赤沈正常値ノモノ多數アリ率ニ於テ 17.2%多シ。

限界値ニ於テハ無熱者ハ有熱者ヨリモ 10.8%多ク、弱反應ニ於テ觀察スルニ有熱者ハ却ツテ無熱者ヨリモ 7.3%少ク無熱者ニ赤沈反應促進セルモノ多キ状態ナリ。

赤血球沈降速度ト體溫トノ關係(其 2)

更ニ余ハ學童熱型ヲ左ノ如ク分類シ赤沈反應ト體溫トノ關係ヲ精査シタルニ第 15 表ノ如シ。

1. 午前、午後共ニ 37.0 度以下ノモノ…無熱
2. (イ) 午前カ午後ノ中 1 回 37.0 度ヲ越エルモノ……………微熱(但學童ノ場合)
(ロ) 午前、午後共 37.0—37.3 度トナルモノ……………微熱(但學童ノ場合)
3. (イ) 午前カ午後ノ中 37.4 度以上トナルモノ……………有熱
(ロ) 午前、午後共 37.4 度以上ノモノ…有熱

赤沈正常値ニシテ體溫 37.0 度以上ノ者ハ微熱 69.4%、有熱 67.4%ニシテ無熱者(52.7%)ヨリモ赤沈正常値ノモノ多數アリ。

又 37.0 度以下ノモノニシテ限界値ノモノ 30.9%アリ、37.0 度以上ノ者ニ於テハ微熱者 20.2%有熱者 22.8%ニシテ無熱者ノ方多數ナリ。

更ニ弱反應ニ於テ見ルニ 37.0 以上ノ者ハ各 9.8%、9.7%ニシテ無熱者ハ 16.4%アリ有熱者ヨリモ多ク赤沈反應ト體溫トノ間ニ特別ノ關係ヲ

第 14 表 赤沈反應(1 時間値)ト體溫トノ關係(其ノ 1)

體溫	赤沈値(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
		0—11	12—19	20—49	50—以上	
午前、午後共 37°C 以下		29	17	9	0	55
同上(%)		52.7%	30.9%	16.4%		
午前カ午後ノ 中 1 回以上 37°C 以上ノ者		101	29	13	1	144
同上(%)		70.1%	20.1%	9.0%	0.7%	

第 15 表 赤沈反應(1 時間値)ト體溫トノ關係(其ノ 2)

體溫	赤沈値(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
		0—11	12—19	20—49	50—	
無熱		29	17	9	0	55
同上(%)		52.7%	30.9%	16.4%	0	
微熱		92	29	14	1	136
同上(%)		69.4%	20.2%	9.8%	0.6%	
有熱		62	21	9	0	92
同上		67.4%	22.8%	9.7%	0	

認メ得ズ。

赤血球沈降速度ト體溫トノ關係(其 3)

曩ニ赤沈反應ト「マントー」反應トノ關係ニ於テ檢討シタルガ如ク赤沈反應ト體溫トノ關係ヲ論ズルニ當リテモ亦赤沈反應 S.M.R. トノ關係ヲモ觀察セリ。

即チ正常値ニ於テ 37.0 以上ノ所謂有熱者ハ 41.6%アリ 37.0 以下ノ無熱者ハ 40.8%ニシテ有熱者ノ方 0.8%多シ。

弱反應(10—20 耗)ニ於テハ有熱者ハ 47.7%、無熱者ハ 40.8%ニシテ有熱者ノ方 6.9%多シ。

中等反應(21—40 耗)ニ於テ無熱者 18.4%、有熱者 9.7%ニシテ無熱者ノ方却ツテ 8.7%多キ奇現象ナリ。

之ニ依ツテ見ルモ赤血球沈降速度ト體溫トノ間ニ特別ナル關係アリト認メ難シ。

更ニ前項(其 1 並ニ其 2)ニ於ケルガ如ク無熱(37.0 度以下)、微熱(37.0—37.3 度)、有熱(37.4 度以上)ニ區劃シ觀察スルニ正常値ニ於テ微熱者 37.0%有熱者 47.1%ニシテ無熱者 40.8%

ニ比シ其ノ率々々高低アリ。
 弱反應(10—20 耗)ニ於テハ微熱者 49.1% 有熱者 46.3% ニシテ無熱者ノ 40.8% ニ比シ前者ハ 8.3% 後者ハ 5.5% 多シ。
 中等反應(21—40 耗)下ニ於テハ微熱者ハ 12.3%、有熱者ハ 6.6% ニシテ無熱者ノ 18.4% ニ比シ前者ハ 6.1% 後者ハ 11.8% 少ク却ツテ無

熱者ニ促進セルモノ多キヲ認ム。
 強反應(41—60 耗)ニ於テハ微熱者ニ 2 名(1.6%)アルノミニシテ僅少ナルヲ以テ對比シ得ザルモ強度促進ハ有熱兒ニ認メラル、ガ如シ。
 以上ノ成績ヨリ見ルモ赤沈反應ト體溫トノ間ニ特別ナル關係アリト認メ難キモ強度促進ハ有熱兒ニ認メラル、ガ如シ。

第 16 表 赤沈速度(S.M.R.)ト體溫トノ關係

赤沈平均速度(耗)	正常値	弱反應	中等反應	強反應	最強反應	計
	0—9	10—20	21—40	41—60	61以上	
體溫						
無熱者	20	20	9	0	0	49
同上(%)	40.8%	40.8%	18.4%	0	0	
微熱者	49	64	16	2	0	131
同上(%)	37.0%	49.1%	12.3%	1.6%	0	
有熱者	50	49	7	0	0	106
同上(%)	47.1%	46.3%	6.6%	0	0	
37.0°C以上ノ者(計)	99	113	23	2	0	237
同上(%)	41.6%	47.7%	9.7%	0.9%	0	

抑、活動性結核ニハ一般ニ熱ハ付キモノデアリ體溫ノ高低ト赤血球沈降速度トハ常ニ平行スルモノニ非ラザルモ赤沈反應促進セルモノ概シテ熱高く結核菌ヲ證明スル事モ亦多シ。
 從來「結核ト微熱」「微熱ト赤沈」ハ密接ナル關係アリトサレ近時學童ノ微熱問題ガ旺シニ論議サレ居ルモ以上ノ表ヨリ之ヲ按ズルニ農村健康兒童ニ於テハ 37.0 度以上ノ者ヲ赤沈正常値ニ相當多數認メ、37.0 度以下ノ者ニ於テ赤沈反應促進セル者又相當多數ニシテ赤沈反應速度ト體溫トノ間ニ特別ナル關係ヲ認メ得ズ。
 一般ニ小兒ノ結核性胸部疾患ハ肺門淋巴腺結核多クシテ之ハ肺結核ニ比スレバ赤沈速度ノ促進

著シカラズ。右ノ關係モ亦臨牀の見地ヨリスルモ根據ヲ有スルモノナリ。
 片岡、高田兩氏ハ女子醫專豫科生 191 名ニ就テ調査シタル體溫ト赤沈トノ間ニハ相關比ヨリ見ルニ醫學常識ニ反スル輕度ノ相關關係ヲ示ス如キモ、之ヲ體溫、赤沈共ニ 2 群ニ分ケ χ^2 試驗ヨリ見ルニ兩者ニ何等關係ナシト云ヒ余ノ成績ト相一致スルヲ見ル。
 要之「成人微熱ト結核」ハ關係多キモ健康兒童ノ所謂微熱ト赤沈反應トノ間ニハ特別ナル關係ナシト云フ事ハ吾人學校衛生ニ携ハルモノ、一考ヲ要スベキ所ナリ。

第 9 章 赤血球沈降速度ト頸部淋巴腺腫脹トノ關係

第 17 表ニ於テモ頸腺腫脹セルモノニ赤沈反應ノ促進セル者ガ比較的多ク限界値(12—19 耗)ニ於テ腫脹ナキモノノ 15.2% ニ對シ腫脹アルモノノ 25.7% ニシテ後者ニ於テ 10.5% 多ク、弱反應(20—49 耗)下ニ於テハ腺腫脹ナキモノノ 8.9%

腺腫脹アルモノノ 13.6% ニシテ之又 4.7% 後者ガ高率ヲ示セリ。又赤沈反應正常値ナルモノ、中ニモ僅少トハ云ヘ 3 名ノ頸腺腫脹大ナルモノヲ見ル。頸腺腫脹ナキモノハ正常値ニ於テ腫脹アルモノヨリ 16.2% ノ高率ヲ示ス、之ニ依リテ

見ルモ頸腺腫脹ハ赤沈反應ト多少關係アルモノノ如シ。

第17表 學童赤沈反應(1時間値)ト頸腺腫脹トノ關係

赤沈速度(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
頸腺腫脹度	0—11	12—19	20—49	50→	
頸腺腫脹ナシ	60	12	7	0	79
同上(%)	75.9%	15.2%	8.9%	0	
頸腺腫脹、小	71	31	13	2	117
„ 中	49	22	15	0	86
„ 大	3	0	0	0	3
大、中、小、計	123	53	28	2	206
同上(%)	59.7%	25.7%	13.6%	1.0%	

第10章 赤血球沈降速度ト扁桃腺肥大トノ關係

第18表 學童赤沈反應(1時間値)ト扁桃腺肥大トノ關係

赤沈反應(耗)	正常値	限界値	弱反應	強反應	計
扁桃腺肥大度	0—11	12—19	20—49	50→	
肥大ナシ	89	32	16	1	138
同上(%)	64.5%	23.2%	11.6%	0.7%	
輕度肥大	54	20	6	1	81
中等度肥大	24	13	10	0	47
高度肥大	6	1	4	0	11
高、中、輕(計)	84	34	20	1	139
同上(%)	60.4%	24.5%	14.4%	0.7%	

以上ノ表ニ於テ赤沈正常値ヲ見ルニ扁桃腺肥大ナキモノハ64.5%ニシテ肥大セルモノ、60.4%ヨリ4.1%高率ナリ。

限界値(12—19耗)ニ於テハ肥大ナキモノ、23.2%ニ對シ肥大セルモノ24.5%ニシテ後者ノ方1.3%多シ、又弱反應(20—49耗)ニ於テ比較スルニ前者ノ11.6%ニ對シ後者ハ14.4%トナリ肥大セルモノ、方1.8%高率ヲ示ス。

強反應ニ於テハ兩者同率ヲ示セリ。

要之赤血球沈降速度ト扁桃腺肥大トノ關係ハ肥大アルモノ限界値ニ於テ1.3%、弱反應ニ於テ1.8%促進スルノミナルヲ以テ扁桃腺肥大アルモノハ赤沈反應ハ促進スル事多キモノノ僅カノ差ヲ以テ兩者ノ間ニ特筆スベキ關係アリトハ言ヒ難シ。

第11章 赤血球沈降速度ト學業成績トノ關係

第19表ニ示スガ如ク學業成績甲ノ者ハ赤沈値正常(0—11耗)ノ者ニ斷然多ク限界値(12—19耗)弱反應(20—49耗)ト促進スルニ從ヒ22.7%、9.1%ト減少ス。

然ルニ學業成績乙ニ於テモ亦丙ニ於テモ正常値

ノモノ最モ多ク限界値、弱反應、強反應ト促進スルニ從ヒ減少スルコト甲ニ於ケルガ如シ。

以上ノ成績ヨリ見ル時赤血球沈降速度ト學業成績トノ間ニモ亦特別ナル關係ヲ認ムルコトヲ得ザルナリ。

第 19 表 赤血球沈降速度ト學業成績トノ關係

赤沈速度 (1時間値)		正常値			限界値			弱反應			強反應		
		0—11			12—19			20—49			50→		
性別	検査人員	學業成績			學業成績			學業成績			學業成績		
		甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙
男	162	15	70	19	8	26	6	1	12	4	0	1	0
女	126	15	52	16	2	21	1	3	13	2	0	1	0
計	288	30	122	35	10	47	7	4	25	6	0	2	0
成績別	甲	30人	68.2%		10人	22.7%		4人	9.1%		0		
	乙	122人	62.2%		47人	24.0%		25人	12.8%		2人	1.0%	
	丙	35人	72.9%		7人	14.6%		6人	12.5%		0		

第 12 章 總括及ビ結論

結核患者 300 名並ニ農村學童 286 名 (11 歳—14 歳)ニ就テ赤血球沈降速度ヲウェスターグレン氏法ニ依リ検査シ特ニ健康兒ニ就テハ赤血球沈降速度正常値ヲ決定シ更ニ「マントー」反應、體溫、頸部淋巴腺腫脹、扁桃腺肥大、學業成績等トノ關係ヲ考察スルニ左ノ結果ヲ得タリ。

1. 健康學童 (11 歳—14 歳)ノ 1 時間ノ赤血球沈降速度ハ總數ノ 50%以上ハ 1—10 耗ノ間ニアリ、78.3%ハ 1—20 耗ノ間ニアリ。依テ 10 耗以下ヲ正常値、20 耗以上ヲ促進ト認ム。其ノ中間 11—19 耗ハ之ヲ限界値トスルヲ適當ト認ム。
2. 健康學童 (11 歳乃至 14 歳)ノ赤血球沈降速度ノ正常値ハ統計學的算出ニ依レバ 1 時間 4—13 耗、2 時間 19—22 耗、24 時間 86—88 耗ナリ。
3. 結核初診ノ患者 1800 名ニ就テノ調査ニ依レバ 88.0%ハ 37—37.5 度ノ微熱ヲ示シ大人ノ微熱ト結核トハ密接ナル關係ヲ示ス。尙初診時微熱アル患者 780 名ニ就テノ調査ニ依レバ其ノ 75.6%ハ赤血球沈降速度促進ス。即チ大人微熱ト沈降速度トハ密接ナル關係アルヲ認ム。
4. 從來結核ト微熱ハ密接ナル關係アリトセラレ學童ノ微熱問題ハ常ニ論議サル、所ナルモ健康兒童ノ所謂微熱ト赤沈反應トノ間ニハ特別ナル關係ナシト云フ事ハ學校衛生ニ携ハル者ノ一考ヲ要スベキ點ナリ。

5. 肺結核ト赤沈反應トノ關係ハ意義深ク從ツテ、「ツベルクリン」反應ト赤沈反應トハ一般ニ重視セラル、所ナルモ余ノ調査ニ依レバ「ツベルクリン」反應陽性者必ズシモ赤沈反應促進スルモノニ非ズ。陰性者ニシテ促進スルモノ、率相當大ニシテ「マントー」反應ト赤沈反應トノ間ニ特別ナル關係ヲ認メズ。即チ學童結核感染ノ發見ニ際シテハ赤血球沈降速度ハ大ナル意義ヲ有セズ。然レドモ所謂健康學童中ヨリ結核患者ヲ發見スルニ當リテハ赤沈反應ハ大ナル意義ヲ有スルモノト認ム。

6. 頸部淋巴腺腫脹アル學童ノ赤血球沈降速度ハ多少促進ス。
7. 扁桃腺肥大アル者ハ赤沈反應ハ稍々促進スル傾向アルモ其ノ差極メテ僅カニシテ扁桃腺肥大ト赤沈反應トノ間ニ特筆スベキ關係アリト言ヒ難シ。
8. 赤血球沈降速度ト學業成績トモ無關係ナリ。

擱筆ニ當リ 恩師名古屋帝大醫學部教授 勝沼精藏博士ノ御指導御校閱ニ對シ滿腔ノ敬意ヲ表ス。

尙本研究ニ當リ太田齒科校醫、仲村校長外職員御一同ノ熱心ナル御後援ニ對シテハ衷心ヨリ感謝スル所ナリ。

主要文獻

- 1) 石山暢昂, 大阪醫學會雜誌. 第26卷, 第3號.
 2) 渡邊三郎, 結核. 第3卷, 第1號. 3) 選田利, 大阪醫學會雜誌. 第33卷, 第11號. 4) 西村助衛門, 兒科雜誌. 第299號. 5) 竹中雲, 東京事新誌. 第2811號. 6) 久原健三, 日本整形外科學會雜誌. 第7卷, 第1號. 7) 岡崎祇容, 臨牀內科, 第2卷, 第5號. 8) 山田光繼, 結核. 第13卷, 第6號. 9) 奧田祐孝, 兒科雜誌. 第44卷, 第9號. 10) 村上勝美, 兒科雜誌. 第44卷, 第2號及第9號. 11) 村上勝美, 兒科雜誌, 昭和11年, 第439號. 12) 村上勝美, 兒科雜誌. 昭和10年, 第426號. 13) 久保忠夫, 北海道醫學雜誌. 第2年, 第3號. 14) 岡村三郎, 北越醫學會誌. 第46年, 第5號. 15) Abderhalden, Münch. med. Wschr. 1921, Nr. 31. 16) Fahraeus, Biochem. Zeitschrift. 1918, Bd. 89. 17) Westergren, Brit. Journ. of Tuberculosis 1921, No. 2, Vol. 15. 18) 岡田實秋, 長崎醫學會雜誌. 第4卷, 第5號. 19) 大谷誠, 日新醫學. 第15年, 第6號. 20) 柘植恭一郎, 愛知醫學會雜誌. 第33卷, 第5號. 21) 前田正文, 臨牀醫學. 昭和12年, 第25卷. 22) 土橋光太郎, 兒科雜誌. 第43卷, 第6號(昭和12年). 23) 岩原寅猪, 診斷治療. 第18卷, 第8號. 24) 岡部, 岩原, 慶應醫學. 第12卷, 第5號. 25) 大野憲吉, 千葉醫學會雜誌, 第15卷, 第5號. 26) Bürker, Münch. med. Wschr. 1922, Nr. 16. 27) 井下, 勝馬, 黃楊一雄, 結核. 第15卷, 第3號. 28) 相澤秀男, 結核. 昭和11, 第5號, 6號. 29) 高橋次郎, 兒科雜誌. 昭和11, 433, 934. 30) 砂川正亮, 結核. 第16卷, 第6號. 31) 井下, 福永, 山本, 結核. 第15卷, 第10號. 32) 浦島茂, 大田泉, 兒科雜誌. 第390號. 33) 熊谷謙二, 日本臨牀結核. 第1卷, 第11號. 34) 片岡ウメ子, 高田ふさ子, 東京女醫學會雜誌. 第6卷, 第4號. 35) Brinkmann, Deutsche Tuberkulose-Blatt November 1936, Heft 11. 36) 延島市郎, 療養真髓. 第2版, 昭和14年.

會報並二雜報

3月新入會者

三和功 千葉市吾妻町二丁目一〇
 島井嗣生 大連市外小平島南滿洲保養院
 谷宗雄 北支派遺軍安達部隊河合部隊
 高橋操三郎 小野田市字植松日赤山口支部臨海療養院
 澁谷勲 茨城縣那珂郡村松晴嵐莊官舎
 吉井繁 神戸市須磨區大谷口町三丁目三七ノ六
 山田耐次 大阪府北河内郡友呂岐村香里櫻ヶ丘

永山公平 東京市小石川區大塚坂下町二一階行社住宅
 鈴木清 東京市杉並區天沼三ノ五八七
 久留幸男 東京市牛込區陸軍豫科士官學校醫務室
 岡部昇 東京市牛込區陸軍豫科士官學校醫務室
 石川浩 兵庫縣武庫郡魚崎町横屋宮本五三七
 鶴飼尙隆 芦屋市三條字松本四六五

noch dazu 15%, nach 50 maligen Behandlungen,
in summa 68%.

So ist es uns sehr befriedigend, daß Veränderungen vielerlei Zustände der etwa 94% von der Gesamtheit so betrachtet werden konnte. (Autoreferat.)

Beitrag zur Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit bei gesunden Kindern.

Von

Dr. Med. Ichiro Nobushima.

(Aus dem Chikuroku-Sanatorium.)

Trotzdem die Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit für die Tuberkulose nicht eine spezifische Reaktion ist, spielt sie bei der Diagnostik eine wichtige Rolle. Ich untersuchte die Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit bei 300 tuberkulösen Patienten sowohl 286 Kindern auf dem Lande (11-14 Jahre) durch Westergrensche Methode, besonders stellte ich bei den gesunden Kindern einen normalen Wert der Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeiten fest und nahm Rücksicht über die Verhältnisse aus der Mantoux'schen Reaktion, Temperaturen, Halslymphdrüsen-Anschwellungen und Tonsillen-Hypertrophien, so erhielt ich folgende Resultate:

1) Die Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit in einer Stunde bei gesunden Kindern (11-14 Jahre) schwankt über 50% der Gesamtzahl zwischen 1-10 mm, 78.3% derselben zwischen 1-20 mm. Nach statistischer Zahlweise soll es unter 10 mm „Normalwert“, unter 20 mm „Beförderungswert“ und 11-19 mm „Grenzwert“ heißen. Und die Durchschnittszahl des 1 Stunden Normalwertes ist zwar 4-13 mm und die des 2 Stunden desselben ist 9-22 mm. Die letzte Durchschnittszahl des 24 Stunden Normalwertes ist 86-88 mm.

2) Da die Verhältnisse zwischen der Lungentuberkulose und der Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit bedeutungsvoll sind, merkt man zwischen der Tuberkulin-Reaktion und der Erythrozyten-Senkungsreaktion ein spezifisches Verhältnis.

3) Man sagte bisher, dass es ein tiefes Verhältnis zwischen der Tuberkulose und der subfebrilen Temperatur gebe, sowie die Frage der subfebrilen Temperatur bei den Schulkindern oft diskutiert wurde. Aber zwischen sog. subfebrilen Temperatur und der Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit bei gesunden Kindern hat es keine spezifische Beziehung gegeben.

4) Die Halslymphdrüsen-Anschwellung bei den Kindern lässt mehr oder weniger die Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit befördern.

5) Die Tonsillen-Hypertrophie bei den Kindern hat keine Verhältnisse mit der Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit.

6) Es hat auch keine Beziehung auf die Schulzeugnisse der Kindern durch die Erythrozyten-Senkungsgeschwindigkeit. (Autoreferat.)